

会長のページ ご挨拶	河野 雅行	3
日州医談 病床機能報告制度と地域医療ビジョン	富田 雄二	4
宮崎県医師会役員等名簿		6
就任挨拶 宮崎大学医学部長就任のご挨拶と抱負	丸山 眞杉	7
はまゆう随筆(その1)		9
住吉 昭信, 田島 直也, 小澤 仁雄, 石原 和郎, 前田 資雄 細見 潤, 中村 政人, 重永 哲洋, 藤木 浩, 田村 正三 坂田 師隣, 宝珠山 弘, 坂田 師通, 高宮 眞樹, 石川 誠一		
エコー・リレー(467)	杜若 陽祐, 宝珠山厚生	21
宮崎大学医学部だより(感染症学講座寄生虫学分野)	丸山 治彦	24
専門分科医会だより(内科医会)	小牧 斎	25
メディアの目 大量の治療領収書と母の思い	坂元 秀光	26
ニューメンバー	井上 由希	45
診療メモ 遺伝子診断と遺伝カウンセリング	山口 昌俊	66

宮崎県感染症発生動向	22
薬事情報センターだより(326) 新薬紹介(その70)	27
あなたできますか?(平成25年度医師国家試験問題より)	28
宮崎県医師会医学会役員会	29
第25回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会	30
医師国保組合だより	31
日医インターネットニュースから	32
理事会日誌	35
県医の動き	43
会員の異動・変更報告	44
ベストセラー	45
ドクターバンク情報	47
行事予定	51
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
あとがき	70

~~~~~

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| お知らせ 第15回宮崎県医師会医家芸術展 .....           | 8  |
| クールビズについて .....                      | 29 |
| 平成26年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い ..... | 34 |
| 女性医師メーリングリストのご案内 .....               | 41 |
| 「宮崎医療労務管理相談コーナー」を開設しました .....        | 42 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています .....         | 53 |
| 郡市医師会への送付文書 .....                    | 68 |

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 書〕

### 涼風の...

「涼風のしばらくしてはまた来る」は高浜虚子の句です。

私は繊細な中に芯の強さが感じられる“かな書”にすっかり魅了されています。

二十年間ありのままの私を受け入れ導いてくれた義兄夫婦のもと、また書き続けます。

宮崎市 まつ松 もと本 きょう京 こ子

## 会長のページ

## ご挨拶

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

この度、稲倉会長の後を受けまして県医師会執行部を任されることになりました。秦執行部で常任理事 10年、稲倉執行部で副会長 6 年余、経験をさせていただきました。

ご存知の様に医療を取り巻く情勢は非常に厳しく、多くの難問が山積しています。診療報酬改悪に伴う地域医療の崩壊、医師・医療関係者確保問題、TPP 問題、我が国の健康長寿国達成に多大な貢献をした皆保険制度の見直しとも取れる混合診療の容認等々です。成長戦略・規制緩和政策

で医療・皆保険制度もターゲットにされています。更には消費税や承継に関わる相続税等の諸税を巡る問題も深刻な影を落とし始めています。その他数え上げるのが困難な程様々な多くの問題が挙げられますし、新たな問題も次々に発生しています。

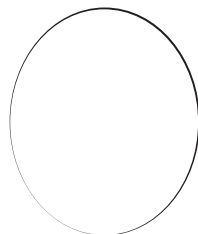
中でも地域医療の崩壊は由々しき問題です。医師会・医師の存在目的は多々ありますが、最大の目的は「県民の生命と健康を守る」ことです。即ち「地域医療を守る」と言い換えても過言ではなく、「地域医療を守る」とは、患者さん・県民を守るのは勿論ですが、医療提供者をも守らねばならないことも忘れてはなりません。地域医療・福祉の充実は関係者のみの努力では限度があります。県民・社会の皆で創り、皆が幸福な状態になることであると思います。

これらの様々な問題を解決するには日医、各県医、県内各都市医師会、県行政、宮崎大学、関連諸団体等との協議や協調も欠かすことは出来ません。更に、行政並びに政治家の力を借りなければ何も動かないことです。しかし、依頼ばかりではなく我々も相応の協力を惜しんではなりません。

新執行部には旧執行部からのベテラン役員が多く留任されていますし、更に、意欲に満ちた新役員にも多数参加していただきました。やるべきことは余りにも多い状態ですが、基本的には従来の方針を踏まえつつ、伝統ある宮崎県医師会の名を汚さぬように、役員・事務局の総力を挙げて、一つひとつの問題に真摯に向き合いスピードを持って取り組んでまいります。且つ、今迄通りに開かれた県医師会を目指します。皆様方の今後ますますのご協力をお願いいたします。

(平成 26年 6 月 25日)

## 日州医談



## 病床機能報告制度と地域医療ビジョン

副会長 富 田 雄 二  
とみ た ゆう じ

本年 10 月から開始される病床機能報告制度と 2 年度から策定が開始される地域医療構想(地域医療ビジョン)は、地域医療提供体制を大幅に再構築する試みであり、今後、医師、医療機関、医師会にとって最も強い関心と関与を必要とするものである。日州医事 5 月号において連絡協議会の概要が報告されているが、再度この問題を取り上げておきたい。

現在は県医療計画において 2 次医療圏毎に一般病床数と療養病床数の上限が決められている(他に精神、感染症、結核病床あり)。また「5 疾病 5 事業 + 在宅」のそれぞれの分野において、地域の医療連携体制構築について明記されている。しかしながら当県における現状を追認しているのみであり、医療資源の過不足の評価や将来設計を行うものではない(註 5 疾病 がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患 5 事業 救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療)。また、病床の現状は 7 1 基準病床が多数を占め急性期医療に偏りすぎていると指摘されている。

今後、我が国の総人口は減少し、その年齢構成も若年者は減少し後期高齢者は増加することから、cure を目指す急性期型医療から、care に重きをおく医療へ、更に在宅医療や介護を含めた地域包括ケアを実現する医療提供体制へ変化しなければ国民のニーズに応えられないと考えられる。日本医師会と四病院団体協議会は昨年 8 月に「医療提供体制のあり方(大きな方向性)」を

示した。今回の診療報酬改定において 7 1 病床削減が明確に打ち出されたが、行政からの押し付けによるのではなく、また医療費削減のためでもなく、時代と地域に見合う体制構築に向けて、医療を行う我々自らが考え行動するとの方針である。

当県においては、未だ医師不足による急性期医療(特に救急医療)の充実が必要な現状にありそのための努力は続けなければならないが、同時に、進行する人口構造変化に適応する医療機能に変化させていかなければ、県民にとっても医療機関にとっても不幸な状況に陥ってしまう。県内においても市町村によって状況が異なるので、今後、都市医師会を中心に自地域の将来像を描き、医療機関の機能分化と連携を図る準備を早急に始めなければならない。将来の医療需要予測については、これまでに行われた入院患者実態調査やレセプト分析から年齢別罹患率を推計し、これに年齢別人口将来予測を組み合わせ国がガイドラインの形で出してくる予定である。また今回の地域医療ビジョンについては都道府県の権限を大幅に強めており、ペナルティも含めて実現を強制する姿勢も垣間見られるが、無意味な機能別病床規制にならないよう、地域医療を担っている我々が医師会に意見を集約し、県行政へビジョンを提言する形で、現実的で効果的な医療提供体制の再構築を図りたいと考える。

## ・病床機能報告制度

対象は病院および有床診療所の一般病床と療養病床。自院の病床が担っている医療機能の現状と今後の方向性を選択し、病棟単位で、「高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能」のいずれかを都道府県に報告する(当面は病院単位での報告となる)。報告方法は、構造・設備、人員配置等の自主的報告と、電子レセプトから自動的に抽出される患者情報、傷病名、診療行為、医薬品・医療材料などである。従って、報告した病床機能は当該病床の治療実態により評価されることとなる。

## ・地域医療ビジョン

地域の医療需要の将来推計や病床機能報告制度の情報を活用し、2次医療圏毎に、各医療機能の将来(2025年)の必要量を含む地域の医療提供体制の目指すべき姿を示すものであり、以下の3つの内容を定めるとしている。

- 1) 2025年の医療需要(入院・外来別の疾患別患者数)
- 2) 2025年に目指すべき医療提供体制(2次医療圏毎の医療機能別の必要数)
- 3) 目指すべき医療提供体制を実現するための施策(医療機能分化・連携を進めるための施設整備、医療従事者の確保・養成)

日本医師会・四病院団体協議会「医療提供体制のあり方(大きな方向性)」2013年 8月

1. 地域の人口等に応じて一定数確保すべき病床は、医療計画に適切に組み込んでいく。
2. 急性期病床は地域における医療ニーズの実態と客観的な将来見込みを踏まえて再編を行う。病期としての急性期には、病態として重症・中等症・軽症が含まれる。このうち、救命救急センター、集中治療室等、専門医が常時配置されている病床は高度急性期病床として独立させる。高度急性期を担う病院はより急性期に集中できるように、人員・設備を充実する必要がある。また、軽症ほど早期に回復期に移行できる。一方、超高齢社会においては医療ニーズも変化し、様々な病期に適時・適切に対応する必要が高まることから、急性期、回復期、慢性期を担う医療機関が適切に役割分担と連携をすることも必要である。なお、ここでいう回復期には、ポストアキュート(急性期を脱したいいわゆる亜急性期の入院医療)および回復期のリハビリテーションが含まれる。なお、医療の効率化や集約化は、各地域の実情に合わせた提供体制構築の結果として進むものである。
3. 慢性期病床は地域の高齢化の実情と客観的な将来予測等を踏まえて他の提供体制と合わせて適切に構築されていくべきものであり、介護療養病床の廃止は見直していく必要がある。
4. 今後の超高齢化社会では、これまで以上に在宅医療の充実が必要である。かかりつけ医による在宅医療を推進するとともに、身近なところにいつでも入院できる病院等を用意して、自宅や居住系施設、介護施設など、どこにいても医療が適切に確保できるように、地域ごとに医師会や医療機関が行政や住民と協力しながら、介護など連携した地域包括ケアシステムを確立していく。

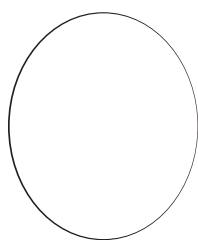
## 宮 崎 県 医 師 会 役 員 等 名 簿

任期 平成 26 年 6 月 21 日の定例代議員会終結後～平成 28 年 6 月の定例代議員会終結時まで  
 （議長・副議長の任期は、平成 26 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日）

| 役 職   | 氏 名       | 所属都市医師会 | 勤 務 先         | 電話・FAX                   | 新任 |
|-------|-----------|---------|---------------|--------------------------|----|
| 会 長   | 河 野 雅 行   | 宮 崎     | 河野整形外科        | 0985-39-3313 FAX 39-3314 | ○  |
| 副 会 長 | 富 田 雄 二   | 西 都     | 富田医院          | 0983-43-0178 FAX 41-1061 |    |
| "     | 濱 田 政 雄   | 宮 崎     | はまだレディスクリニック  | 0985-39-0087 FAX 39-9112 | ○  |
| 常任理事  | 立 元 祐 保   | 宮 崎     | 綾立元診療所        | 0985-77-0333 FAX 77-3669 |    |
| "     | 吉 田 建 世   | 延 岡     | 吉田病院          | 0982-37-0126 FAX 37-0233 |    |
| "     | 小 牧 齋     | 宮 崎     | こまき内科         | 0985-26-1112 FAX 26-0636 | ○  |
| "     | 荒 木 早 苗   | 宮大医     | 宮崎大学医学部       | 0985-85-9029 FAX 84-2549 |    |
| "     | 池 井 義 彦   | 西 諸     | 池井病院          | 0984-23-4151 FAX 24-0635 |    |
| "     | 牛 谷 義 秀   | 宮 崎     | クリニックうしたに     | 0985-52-8080 FAX 52-8088 |    |
| "     | 金 丸 吉 昌   | 日 向     | 美郷町国民健康保険西郷病院 | 0982-66-3141 FAX 66-2491 |    |
| "     | 佐 々 木 幸 二 | 都 城     | 佐々木医院         | 0986-62-1103 FAX 29-3016 | ○  |
| "     | 高 村 一 志   | 宮 崎     | たかむら小児クリニック   | 0985-52-8181 FAX 52-6055 | ○  |
| 理 事   | 上 田 章     | 宮 崎     | 県立宮崎病院        | 0985-24-4181 FAX 28-1881 |    |
| "     | 峰 松 俊 夫   | 南那珂     | 愛泉会日南病院       | 0987-23-3131 FAX 23-8130 |    |
| "     | 川 野 啓 一 郎 | 宮 崎     | まつばし川野整形外科    | 0985-32-0771 FAX 26-7790 | ○  |
| "     | 佐 藤 信 博   | 延 岡     | あたご整形外科       | 0982-22-7575 FAX 33-0978 | ○  |
| "     | 佐 々 木 究   | 宮 崎     | 佐々木眼科医院       | 0985-20-0080 FAX 20-0143 | ○  |
| "     | 岩 村 威 志   | 宮 崎     | 潤和会記念病院       | 0985-47-5555 FAX 47-8558 | ○  |
| "     | 米 澤 勤     | 児 湯     | 海老原総合病院       | 0983-23-1111 FAX 21-1816 | ○  |
| "     | 鮫 島 浩     | 宮大医     | 宮崎大学医学部       | 0985-85-0988 FAX 85-6149 | ○  |
| "     | 糸 数 智 美   | 宮 崎     | どんぐりこども診療所    | 0985-62-0999 FAX 62-0993 | ○  |
| "     | 内 村 大 介   | 西 諸     | 内村病院          | 0984-23-2575 FAX 22-6442 | ○  |
| 監 事   | 赤 須 巖     | 延 岡     | 共立病院          | 0982-33-3268 FAX 21-5700 |    |
| "     | 中 村 周 治   | 宮 崎     | 平和台病院         | 0985-24-2605 FAX 22-0787 |    |
| "     | 小 牧 文 雄   | 都 城     | 一心外科医院        | 0986-52-7788 FAX 52-7923 |    |
| 議 長   | 渡 邊 康 久   | 日 向     | 三股病院          | 0982-58-0034 FAX 58-0096 | ○  |
| 副 議 長 | 岩 見 晶 臣   | 西 都     | いわみ小児科医院      | 0983-42-1500 FAX 43-4550 | ○  |

## 就 任 挨 拶

## 宮崎大学医学部長就任のご挨拶と抱負

宮崎大学医学部長 <sup>まる</sup>丸 <sup>やま</sup>山 <sup>ま</sup>眞 <sup>すぎ</sup>杉

すでに、田んぼの稲は大きく育っていました。今でもその時の空気の匂いを覚えています。昭和 49年初夏、確か、宮交シティが開業した年に私は宮崎へやってきました。新設の宮崎医科大学に一期生として入学することになったのです。入学試験に合格したのは学力ではなく、一問も満足に解けなかった数学の試験の後でも入試会場に居続けた能天気さによるものと思っています。

一年目は学舎すらなく島山の運動公園にある合宿所で授業が始まりました。夏は暑くて、冬は丁度長嶋巨人が宮崎キャンプを開始した頃で、長嶋が気になって授業どころではなかったように記憶しています。

さて、日州医事の広報委員会から、新医学部長の「挨拶・抱負」という題で原稿の依頼を頂きました。それに相応しい、宮崎大学医学部(旧宮崎医科大学)の置かれた現状と諸問題、その解決に向けた抱負、のようなものをひねり出すべく、新臨床研修制度のこと、大学予算の大幅な削減のこと、研修医の不足のこと、教職員定員の長期にわたる持続的な削減のこと等々、課題、難題を考えているうちに、なにやら重苦しく、根暗な文章になってしまう気がしてきました。結局、あれが悪い、これが難しいとあげつらうのはやめ、能天気な夢を書くことにしました。なにしろ、それが持ち味です。

時の中田角栄首相の列島改造論による一県一医学部の構想のもと設立された宮崎医科大学は現在まで約 3,300名の医師を輩出し、宮崎県のみならず日本の医療体制の充実に貢献してきたことは異論のないところであると思います。今後

も宮崎県の医療を支える人材を輩出し続け、宮崎の住民が、住んでいる地域によって受けられる医療が大きく異なる、というような事態が起こらぬよう全力を尽くします。当然そのためには医師会との協力、県や市などの行政組織との連携が重要でしょう。最近、国際基準に合致する医学教育というものが求められています。そのために、平成 26年度の入学生からは、大幅に臨床実習の時間が増やされ、その内容も診療参加型になります。診療参加型の教育を強化するには大きな手間が掛かります。臨床教育スタッフ、医師の大幅な増員が不可欠であり、これを実行しなければなりません。また、卒後の若い医師を宮崎に集めるためには、魅力ある卒後研修プログラムを開発し、全国の卒業生を惹き付ける研修体制が実現しなければなりません。これは教育関連病院との更なる関係の強化を通してのみ可能となります。宮崎県の様々な医療機関との連携も図っていくつもりです。国際化では、カリフォルニア大学アーバイン校との救急部門における協力や、学生の交流などが進展しています。卒後研修のプログラムの共同開発なども視野にいられています。研究者の確保は既に走っている学部における研究者育成コースの充実を通じて実現可能でしょう。これは、研究者志向の学生に研究活動を経験して貰うプログラムです。金太郎飴ではない、様々な視点、個性を持った卒業生を輩出したいと強く思います。

上記述べたことが実行できなければ、この三段腹搔っ捌いて...、という覚悟で臨みます。医師会の皆様のご協力のご指導がなければ、三段腹にすでに刃が突き立っているも同然です。なにとぞ、ご厚情を賜りますようお願いいたします。

## お知らせ

## 第 15 回宮崎県医師会医家芸術展

「優秀な作品を一同に展示し、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成 1 年から始まった宮崎県医師会医家芸術展も、本年で第 15 回を開催する運びとなりました。今回は 48 名の皆様から 116 点のご応募をいただきました( 7 月 3 日現在 )。

昨年は、2,416 名の皆様にご来場いただき、ご好評いただいております。

今年は下記の日程で開催いたしますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：平成 26 年 8 月 12 日(火)～ 17 日(日) ( 6 日間 ) 10: 00～ 18: 00

( 但し、17 日(日)は 10: 00～ 15: 00 まで )

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2

( 宮崎市船塚 3 -210 県総合文化公園内 )

部 門：絵画、写真、書道

出 展 者：宮崎県医師会員とその家族( 高校生以上 )

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課 ☎ 0985-22-5118

## 絵 画 部 門

|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 新 木 る り(日南市) | 安 藤 宣(西都市)   | 石 川 万佐子(宮崎市) |
| 江 藤 貴美子(宮崎市) | 大 森 紹 玄(高鍋町) | 沖 田 悦 子(宮崎市) |
| 押 川 千賀子(宮崎市) | 黒 川 基 樹(宮崎市) | 酒 井 美絵子(都城市) |
| 瀬戸口 敏 明(都城市) | 竹 村 龍之助(宮崎市) | 谷 口 飛 鳥(宮崎市) |
| 谷 口 二 郎(宮崎市) | 戸 田 淳 子(宮崎市) | 長 沼 恭 子(延岡市) |
| 長 沼 弘三郎(延岡市) | 藤 木 浩(宮崎市)   | 政 所 治 道(都城市) |
| 丸 田 眞 美(新富町) | 吉 山 絢 子(都城市) |              |

## 写 真 部 門

|               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| 井ノ口 信 子(宮崎市)  | 押 川 紘一郎(宮崎市) | 木佐貫 冬 星(宮崎市) |
| 楠 元 正 輝(宮崎市)  | 桑 原 淑 子(小林市) | 酒 井 桂 子(都城市) |
| 佐 藤 秀 子(高千穂町) | 竹 尾 康 男(宮崎市) | 田 崎 高 伸(宮崎市) |
| 田 尻 明 彦(宮崎市)  | 田 中 宏 幸(宮崎市) | 田 中 みどり(国富町) |
| 谷 口 二 郎(宮崎市)  | 西 村 篤 乃(宮崎市) | 原 政 樹(国富町)   |
| 日 高 利 昭(延岡市)  | 藤 浦 富 子(日南市) | 丸 田 茂 徳(都城市) |
| 丸 田 英 夫(新富町)  | 康 田 明 照(日向市) |              |

## 書 道 部 門

|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 岡 村 公 子(延岡市) | 尾 上 孝 子(宮崎市) | 篠 原 由紀子(宮崎市) |
| 日 高 芳 則(日向市) | 松 本 京 子(宮崎市) | 山 内 欣(宮崎市)   |
| 弓 削 和 子(宮崎市) | 吉 山 登志子(都城市) | 吉 山 政 敏(都城市) |

( 敬称略・各部門 50 音順・平成 26 年 7 月 3 日現在 )

# はまゆう随筆

その 1

( 7 , 8月号に分けて掲載いたします )

## 本を読む・近況

鹿児島県伊佐市 すみ よし あき のぶ  
住 吉 昭 信

大方の先生方は、既に読まれていると思いますが、私は此の年になって初めて、京セラゴルフリゾートで、J.アレン著、坂本貢一訳「原因と結果の法則」、サンマーク出版、を見つけ読みました。これが一世紀も前に書かれたモノとは信じられませんが、いたく感動しましたので、その一端を記してみます。アレンという著者がどのようにしてこのような考えに行き着いたかは知る由もありませんが、人生の幸福で、穏やかな生き方から成功の秘訣まで、全ての法則・原理がこの中に記されています。

その中で、良いことも悪いことも自分に降り掛かる全ては自分の思いの自然な結果であり、神からの贈り物でもなければ、偶然の産物でもない、自分こそが自分の人生の創り手である、そして、人生には、偶然という要素は全く存在しない、と言い切っています。環境は人間を作らないし、全ての環境は人間が作るモノである。このことは極めて重要で、今問題になっている我々の住む環境の劣悪さは、全て人間が作り、もたらしたものである、ということを意味しています。

健康のことにも触れた箇所があります。暴飲暴食の結果として深刻なメタボリックシンドロームを患っている男は、健康を取り戻すことにと

ても意欲的で、莫大な金をつぎ込んではいるが、美味しいモノを食べたいという自分の欲望は何一つ犠牲にしようとしなないのは、健康を手にするに値しない人間である。目標を達成するには、自分の異常なまでの食欲を犠牲にするという、自己犠牲を払わなくては出来ない相談である、と言っています。

私もこれを読んでから、遅ればせながら、80歳の身ではありますが、“ピンピンころり”と往く為に、食欲を我慢し、運動をして、朝片足1kgの足枷をつけて散歩をしています。そして朝2時間は農業のまねごとと庭の草取りをしています。後は気ままに過ごして、5kgやせましたが、今のところ元気です。

カット

## ネパール小学校への支援

宮崎市 野崎東病院 た じま なお や  
田 島 直 也

本年(平成 26 年)2 月 23 日から 28 日迄、国際ロータリー財団の奉仕事業の 1 つとしてネパールを訪問した。

これはインド国境近くのフルバリー小学校への安全な飲料水対策、学校の屋根の補修、文房具、コンピュータの調達を行うもので、私共が 2 年がかりで先方の要望と本財団との連絡、交渉に当り、今回やっと実現したものである。我々訪問団 3 人はバンコックに前泊しネパールのカトマンズ経由でバイワラに行った。

バイワラにはフルバリー小学校があり、また御釈迦様の生誕地として知られている。ここには多くの国のお寺が広い敷地内に建てられ、日本からも日本山妙法寺、世界平和佛舍利塔が建立されていた。

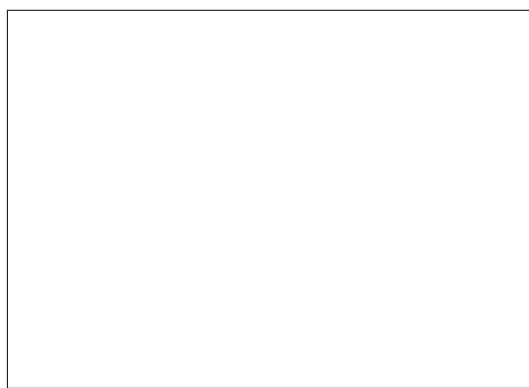
翌朝早く御釈迦様生誕地を訪問した。敷地内は脱靴、建物の中は撮影禁止であった。早朝にもかかわらず、多くの信者が無言でお祈りをさげていた。

午後はいよいよフルバリー小学校を訪問した。

会場前の道路では生徒達がトランペット、太鼓等の歓迎行列で私達を迎えてくれ、式典参加者は生徒、父兄、地区の人等 150 人程で予期せぬサプライズの歓迎をうけた。学校は破れた屋根も修理してあり、文房具等も調達されていた。

私達は持参したノート、ボールペン、野球のボール、グローブ等をプレゼントとして渡したがこれも大好評であった。式典はその後生徒達のダンス、歌があり、まさに学会会の様相で

地区あげでの歓迎会であった。ネパールの学校は義務教育制度ではなく、6 ~ 10 歳の就学率は 90%、11 ~ 13 歳は 57%、14 ~ 15 歳は 30% と高学年になる程低くなると報告されている。しかし低学年の教育から英語があるのは特筆すべきことである。ロータリアンの 1 人が “ この児童の親は文盲が多い。しかし子供は天使である！ ” の言葉が非常に印象強く心に残った。



(平成 26 年 5 月 14 日記)

## ロック再び

宮崎市 こざわ内科 こ ざわ ひと お  
小 澤 仁 雄

音楽は大好きでジャンルを問わず聴いてきましたが、最近再び 70 年代のロックにはまっています。いわゆるプログレッシブロックと言われる範疇の曲です。ジェネシスが大好きで、昭和 53 年の来日時は大阪厚生年金会館まで受験直前

にも関わらず悪友 3 人と行きました。日曜日の早朝に心斎橋まで慣れないチケット買いに出かけたこともいい思い出です。結局昔好きだった曲は、今聴いてもやっぱり満足します。昔のことを思い出すために聴くのではなく、今を楽しむために聴く感じです。ジェネシスは特に 1975 年から 1977 年までの期間が一番気に入っているため、その時期の海賊盤を購入して聴いています。昔は輸入盤専門店に出かけてやっとこさ海賊盤を手にすることができましたが、今やネットオークションで簡単に手に入るようになり助かっています。他にもエマーソン・レイク&パーマーも、以前は「展覧会の絵」と「タルカス」しかレコードを持っていませんでしたが、最近全部買い揃えて聴き込んでいます。リマスターで音質も向上し快適です。

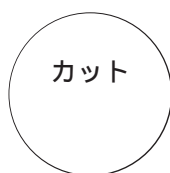
プログレッシブロックで思い出深いのは、ギリシア出身のアフロディテスチャイルドです。最初にシングル「雨と涙」を聴いて気に入ったのがきっかけでした。「666」<sup>1</sup>というタイトルの真っ赤なアルバムが再発されたのを知り、さっそく買い求めました。コンセプトアルバムなので全体を聴くことにはなりますが、今に至るまで結構繰り返し聴いています。キーボード担当のバンゲリスは世界的に有名になり、ボーカル担当のデミス・ルソスはその哀愁を帯びた歌唱でヨーロッパでは有名です。何枚か彼らのアルバムも手に入れて今も愛聴していますが、中でもデミスの「バラッド」は最高にお気に入りです。機会があれば皆さんもぜひお聴きください。

## 還暦からの“草物理”

日南市 日南春光会病院 <sup>いし</sup>石 <sup>はら</sup>原 <sup>かず</sup>和 <sup>ろう</sup>郎

今年還暦となった。人生の大きな区切りを迎えると、恐らく誰でもそうなるのであろう、私も心気一転を図ろうと考えた。心気一転の方法は様々であるが、若い頃あこがれた事を始めるということもその一つである。子供の頃は宇宙に興味があり、盛んに宇宙の本を読んだ。高校を卒業すると、一時は宇宙物理学者になりたいとも考えたが、夢はかなわず現在に至る。長い間宇宙への興味は沈み込んでいたが、2010 年頃から数物連携宇宙研究機構(略称 IPMU, 現 KavliIPMU)(注: 同機構は数学・物理学・天文学の国内外の研究者を集め宇宙の謎に迫ろうとする日本を代表する研究機関)に研究支援の寄付をするようになった。何がしか社会貢献をしたいと思ったからである。社会貢献の形は色々あるが、人類全体の世界観の進展につながる基礎研究に投資したいと考えた。IPMU から研究成果をまとめた LETTER や一般向けの宇宙研究の啓蒙書が送られてくる。こうして、少しずつ宇宙への興味が再び沸き起こってきた。加えて、最近インターネットで専門書でも簡単に購入ができる。そこで、還暦から宇宙物理学を新たに勉強しようと考えた。現代の宇宙物理学の基本は一般相対論と素粒子論である。一般相対論は物質と四次元時空構造の関係をアインシュタイン方程式の形で表現し、宇宙全体の進化を科学の対象とすることを可能にした。素粒子論は宇宙で起きる様々な物質現象を最も基礎的な所から理解することを可能にする。素粒子論の標準理論は場の理論であるが、素粒子を拓がりの

ない点とすることから様々な困難がある。この為、標準理論に替るべく 1980 年代初めより超弦理論が発展し、宇宙の始まりを理解する為に不可欠の理論の可能性を有している。宇宙研究のサポーターとして、より専門的なレベルで先端研究を理解すべく還暦からの“草野球ならぬ草物理”に励もうと思っている。



## 昭和 39 年の思い出

宮崎市 プレストピア まえ だ より お  
なんば病院 前 田 資 雄

2020 年のオリンピックが東京に決まったが、今から 50 年前、1964 年の東京オリンピックのあった頃の事が思い出される(還暦を過ぎると、今まで以上に昔のことを思い出す様になった。その頃を記憶している読者に記憶の訂正、付加をしてもらうのを期待して)。

昭和 39 年、1964 年は中学三年で高校受験の年であった。夏休みの最初の日の夜、受験予定の宮崎大宮高校の体育館(現在のではない、古い体育館)での暑い中、折りたたみイスの聴衆の前に、NHK 交響楽団の定期演奏会があった。岩城宏之(当時 3 歳)指揮と堤剛(当時 2 歳、前年カザルス国際コンクールで優勝したという)のチェロで、曲目は悲愴とドヴォルザークのチェロ協奏曲で父と伯父とで聴きに行った。これから世界に活

躍していく若き日の演奏家の演奏であり、何れも良く聴いた有名な曲であったので堪能する事ができたが、今振り返ると演奏家と聴衆にとって、近年の宮崎国際音楽祭の会場に比べて、真夏のエアコンもない、なんとも劣悪な環境での演奏会であったのかと思返される。調べてみるとその時の九州の巡回演奏では、佐賀県、熊本県、鹿児島県も県立体育館での演奏会であったようだ。地方都市の当時の箱物の事情が垣間見えて面白い。さらに高校の体育館での演奏会など前代未聞では無かったろうか。宮崎市での演奏会で当時よく使われていた県庁前の公会堂は、古くて狭く、現在のオルブライトホールに以前建っていた宮崎市民会館は、この時には建設中であった。三年後の宮崎での定期演奏会は市民会館で行われたとのことである。

もう一つの思い出は、9 月に東京オリンピックの聖火リレーが宮崎に来た時のことである。その夜、平和台公園の平和の塔の正面に聖火台が設けられて、そこに点火する催しが行われた。夕方、今のように木々が茂ってなく、見晴らしの良かった平和台の正面階段を続々と人々が登って来て、平和の塔の正面の広場に各自陣取って、式典を鑑賞した。宮崎県の郷土の芸能も催されたと思う。このように、戦後 19 年目の当時の日本は地方からもオリンピックムードを高揚していったのであろう。この催しのあった時の平和の塔カラー写真が中学校の卒業アルバムの巻頭を飾った。古希を迎えての今度の東京オリンピックが楽しみである。

(現在も平和台のはにわ公園に、当時の式典に使われた聖火台が置いてあるそうです)

## 「地域回想法サミット in 宮崎」 へのお誘い

宮崎市 ハートピア細見 ほそ み じゅん  
クリニック クリニック 潤

回想法はアメリカの精神科医ロバート・バトラー氏が提唱した心理療法で、過去の懐かしい思い出を語り合うことで脳を刺激し、認知機能を改善すると言われています。認知症高齢者のリハビリのみならず、地域の高齢者に対する健康増進や介護予防の方策のひとつとして、また、子どもたちへの文化の伝承という教育的なツールとして地域づくりに応用されています。

当院では認知症デイケアを併設しており、2002年9月の開院以来、回想法を意識して子ども文化センター、県総合博物館、画廊喫茶シベールといった様々な社会資源と連携した活動を行ってきました。特に2010年7月開始のNPO法人ホームホスピス「聞き書き隊」と連携したグループ回想法は2012年4月にはNHK総合テレビ宮崎熱時間「その人らしさを一冊に～認知症ケア 新たな試み～」として宮崎・九州地方で放送され、同年6月と11月には「自分史」がくれた贈り物～宮崎 認知症ケアの現場から～」としてNHKハートネットTVにおいて全国放送されました。そして2012年12月からは県総合博物館の協力のもとに同博物館の展示室を利用した「お出かけ回想法」を、2013年3月からはNPO法人シルバー総合研究所が開発した「ビデオ回想法」を、2014年1月からは一般住宅を利用した「我が家で回想法」を開始し、現在に至っています。

このような活動を継続していくためにはデイケアスタッフの質の向上が必要であり、そのために回想法に関する我が国トップクラスの講師

を複数回にわたって宮崎に招聘して講演会や研修会、ワークショップを開催しました。また、国内外の回想法に関する学会や研修会に参加して、当院デイケアでの実践を報告するとともに、会の参加者との情報交換を行ってきました。

今年10月12日～13日にこれまで宮崎に招聘した講師陣を中心に「地域回想法サミット in 宮崎」をシーガイアコンベンションセンターにて開催します。これを契機に回想法が宮崎県内に広く普及・定着し、もって豊かな地域づくりにクリニックが少しでも貢献することができればと考えています。回想法に関心のある先生方やスタッフの皆様のご参加をお待ちしています。

なお、関連イベントとして10月13日午後にノーキー・エドワーズさんのコンサート＆トークを開催します。ノーキーさんは元ベンチャーズのリードギターで、1965年に日本に初来日し、日本中に空前のエレキブームを巻き起こしました。当時、私は宮崎南高生で、エレキギターに夢中になっており、私にとってノーキーさんは神様のような存在でした。彼も今年79歳になり、最後の日本ツアーになるかもしれません。是非ともベンチャーズファンだった先生方には「地域回想法サミット in 宮崎」に参加していただき、ノーキーさんとともにあの頃を回想していただければと思います。

「地域回想法サミット in 宮崎」の詳細についてはホームページをご覧ください。

<http://www.9ocn.ne.jp/~hosomicl/in-dex6.htm>

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

## 不合理ゆえに吾信ず

綾町 結い診療所 <sup>なか むら まさ と</sup>  
中 村 政 人

2009 年 2 月、イスラエルで催されたエルサレム賞の受賞スピーチで、作家・村上春樹は「もしここに硬い大きな壁があり、そこにぶつかって割れる卵があったとしたら、私は常に卵の側に立ちます」と発言し、大きな話題となった。「卵と壁」の比喻が、パレスチナとイスラエルを示唆していることは明らかだった。もちろん、ハルキのスピーチは単なるイスラエル批判ではなく、より多義性を帯びたものになっている。興味のある方は、是非、御一読いただきたい。

さて、次にハルキとも縁の深かった河合隼雄が絶賛してやまなかった一冊の本を紹介したい。井筒俊彦著『意識と本質』。かの司馬遼太郎をして「二十人ぐらいの天才が一人になっている」と言わしめた碩学・井筒の手になる『意識と本質』は、古今東西の思想、哲学、宗教、文学の間を自在に往来し、意味の深みへと読者をいざなう。以下に引用するのは、十二世紀の哲学者ガザリーにふれた部分である。

「火に紙を近付けば紙は燃える。だが必然的にではない。火に触れた紙が燃えないことも可能である。ではなぜ我々通常の経験上の事実として、火に触れた紙が燃えるのか。それは自然的世界の慣習にすぎない。(中略)それならどうして火に触れた紙がいつもきまったように燃える慣習があるのかといえ、それは神がそうさせるからだ、とガザリーは主張する。(中略)だが要するに慣習にすぎない。慣習はいつでも破られる。つまり奇跡はいつでも起こり得る」

非合理といえど非合理。しかし、実に魅力的

な話である。『であるならば』と私の想像はふくらむ。『ハルキの云うように、卵は何度も壁にぶつかって割れるだろう。しかし、ある日、ついに卵が壁を突き破る瞬間がくるかもしれない。それは予測不能だが、いつでも起こり得ることなのだ』

## 米国胸部学会ATS 2014報告

### Nintedanib で IPF 治療は新展開に

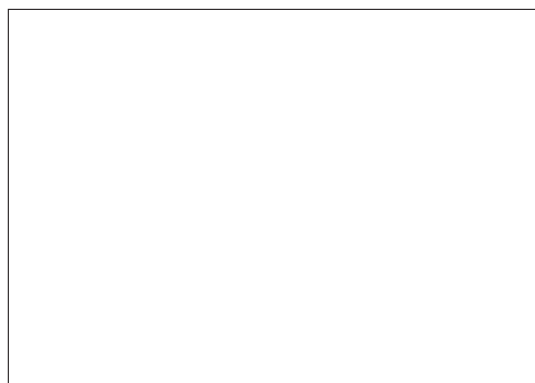
高鍋町 海老原総合病院 <sup>しげ なが てつ ひろ</sup>  
重 永 哲 洋

国際学会は研究の進歩を感じる貴重な場で、高鍋町で地域医療をしている私にはとても刺激的です。年 2 回休診中には、医局とスタッフの皆にサポートいただいています。入郷で地域医療に従事した 20 年前から米澤勤院長にはご指導いただいております。感謝に絶えません。病院にはヘリポートも完成し研修医受入れも始まり、ますます魅力的です。児湯医師会は永友和之会長を中心にとてまとまっており、月 1 の勉強会も通算 500 回目前(！)です。

5 月の ATS はサンディエゴ市での開催でした。同市は 4 回目のため特に観光はせず、杉山幸比古教授(自治医大呼内)と大リーグ観戦し、坂東政司准教授と食事し、あとは興味ある演題を求め会場を歩き回りました。特発性肺線維症(IPF: Idiopathic Pulmonary Fibrosis)は 3 年生存率 50% と多くのがんより死亡率は高率で、呼吸

器病学の抱える大きな課題です。その昔ONO 5046に関する基礎研究が厚生省特定疾患報告書に掲載されて以後私のテーマの一つです。IPFのセッションは立ち見がでるほどいつも会場は一杯です。どの国際会議でも一番前に座りますが見回すといつも同じ顔ぶれです。

今回の目玉はNintedanib (VEGF, FGF, PDGF受容体を標的とする経口低分子チロシンキナーゼ阻害薬)の二重盲検試験 (NIPULSIS -1,2)結果です。同薬によりFVC減少を遅らせることができ(疾患の進行を抑制), 初回急性増悪を起こしにくくすること (NIPULSIS -2)が報告されました。ASCEND 試験 (Pirfenidone の追試)では肺機能低下抑制効果が確認されました。ただしまだIPFには課題も多いのです。スタディのエンドポイントは生存期間の延長ではないこと, 国際ガイドラインでエビデンスなしとされたステロイド持続投与を本邦のガイドラインへ今後どう収載するかなどまだまだこれからです。IPFは「正しく」(病理学的に)診断がなされ, そして「治療に反応する症例をきちんと区別」し治療にのせることが何より大切という現状です。今後の研究で一人でも多くの患者さんが救われることを祈らずにはられません。



## 食 育

宮崎市 藤木病院 藤 木 浩

父の三十三年忌法要後に中華料理「福新楼」で「お斎」をした時, 70名近くの親戚一同が集まり, 子供達が10名ほどとなりました。申し訳ないので家内が子供達は一つのテーブルでまとめて貰ってもよいですよと言ったところ「子供といえどもこうした行事では一人前に扱うのが食育というものです」とマスターに注意されました。

そういえば最近「和食」が無形世界遺産に登録されました。一般に和食は見た目の美しさ・栄養のバランス・食材の多彩さや美味しさを強調されていますが, 本来は正座して茶碗を手に持ち, 箸を使う食事のマナーとおせち料理等年中行事に関連した料理を基本とするものです。私も子供のころから祖母に一汁三菜と腹八分に医者いらずを基本とすることを教え込まれました。

我が家では子供達の進学期になかなか家族揃って食事をするのが困難になり, お腹をすかした子供から不満が出た時に「箱膳」の使用による食育を考えました。ちなみに箱膳とは「食器入れと膳を兼ねた四角な木製の箱で商家等奉公人が使った」とあります。私は伯父の家に下宿をしていた折りに箱膳を使った経験があります。印象としては黒光りのする板の間に正座して, 主人は勿論, 番頭から丁稚まで各自が自分の膳を前に黙々と食事をする姿は暗いイメージが付きまといますが, 一方で主人から客人に至るまで平等な食事を与えられていた事実も忘れられません。ただ現在箱膳を知る職人も店もない為友人の川野幸三氏に頼み込んでそれらしい箱膳を作ってもらいました。さてその夜は子供達に

としては初めての経験と珍しさも手伝って正座による足のシビレも忘れて食事を楽しんだようです。国が貧しく閉ざされた時代にあつては、個人の自由が極度に制限され、学問の道も狭められ、衣食もままならぬからこそ、知育・徳育や万人に共通する社会ルールが必要とされ向学心が煽られたのではなかったでしょうか？本家や伯父の家は勿論、出張していた喜界島の廻船問屋の田端家でも親戚や知人が立ち寄ると「ご飯を食べていきなさい」と言う言葉が聞かれたことを思い出します。食事が出来ることが安定した生活の象徴とされていたからだと思います。即ち「衣食足りて礼節を知る」を教えられて育った私達から見ると、身の周りに充ち溢れた物の中から好みのものをチョイスする現在の若者にとっては何を食べても、見ても特別な感激もないように思えます。学校でさえ押し付けられた義務的なもので、自ら求めたものでないだけに意欲も感じられないように思います。結局「衣食も足り過ぎては礼節も失われてしまう」何事も過ぎたるは及ばざるが如しではないでしょうか。

せめて父親として、箱膳などの道具を通して日本人としての基本的姿勢と食事の規範を教えおきたいと願うだけです。

## ウィーンに行きました

宮崎市 川南病院 田 村 正 三

世界の 3 大放射線学会とは 12 月にシカゴである北米放射線学会、3 月にウィーンであるヨーロッパ放射線学会、4 月に横浜である日本医学放射線学会であるという。12 月のシカゴは寒くて辛すぎるのでどうしてもウィーンに行くことが多く合計 6 回ぐらい行った。

今年は大学生活最後の海外出張で、日医放理事としてヨーロッパ各国の学会との連携の協議に参加するのが名目である。往路は深夜に羽田を発つ ANA 便を選んだ。これだと当日の夕方まで大学で仕事をかたづけることができる。ただし、宮崎を最終で発っても出発まで羽田で数時間待たねばならないし、フランクフルト経由なので時間も長い。また、出発したらすぐ消灯で、機内食を肴に一杯やりたい向き、私だが、には不都合である。午前中にウィーンに到着し、ホテルにチェックイン。学会前日だし夕方まで時間があるのでリングのウィーン大学の近くの駅から路面電車でウィーンの森の Grinzing に行きベートーベンの旧居あたり的高级住宅街を散策した。ここは季節が良いとウィーンの森のホイリゲでワインを飲む名所で、かつてベートーベンも来たという店もある。現地人はベートーベンをベートーブンと発音するので分かりにくい。かなりの引っ越しマニアだったらしくベートーベンハウスは何軒もある。

ウィーン大学は創生期の放射線医学のメッカの一つで慶応大学の放射線科はこの流れである。大学構内には放射線医学の先駆者で、ホルツクネヒト徴候のホルツクネヒト先生の像があ

るらしいがどうしても見つけることができなかった。ちなみに胃切除のビルロート先生の像は目立つ処にある。

旧市街を取り囲むリングという環状道路も昔は城壁で 1683年のオスマントルコの大軍勢による包囲をこれで凌いだそうである。ウイーンは歴史のある町で、いわく因縁に満ち満ちているので興味深い。今後も機会があれば行きたい街である。

## 少子化問題

高鍋町 坂田病院 さか た もろ さと  
坂 田 師 隣

日本においては、少子化が進んでいます。このまま少子化が進行すると日本丸は、沈没するのではないかと懸念しています。

子供を増やすには、周産期医療の充実、子供を育てる環境、経済問題があります。宮崎県では、周産期に関しては宮崎医科大学(現宮崎大学)産婦人科初代教授 森 憲正先生、前教授池ノ上 克先生、現教授 鮫島 浩先生達のご尽力にて日本トップクラスの水準となっております。しかし環境・経済問題に関しては、まだまだの様です。

先人に少子化問題に取り組んだ方はいらっしゃるかと調べてみますと、なんと宮崎県、し

かも私の故郷の高鍋町にその人材が実在したことが判明しました。その方は、江戸時代の高鍋藩主の秋月種茂公です。

秋月種茂公(藩主 1760~ 1788)は、米沢藩で著名な上杉鷹山公の兄であり、鷹山公に兄種茂には、足元にも及ばないと言わしめた人物です。種茂公は、「国造りは人造り」という想いの中で手がけたのが児童手当です。その当時、農民の口減らしの為の間引きをなくすため、3人目の子供から1日に赤米2合、麦3合を支給し、双子の誕生には、米を給付しました。又、妊娠・分娩の管理技術が未熟な為、周産期死亡率が高いことから大坂の有能な産婆ミツを破格の待遇で招聘し出生率を高めています。

現代の社会において、種茂公の様な社会保障を考慮すべきと考えますが実際施行するには財源の問題に直面します。種茂公の時代も決して財政が裕福とは考え難く、児童手当等を施行するにあたり、なにか方策があったのではないかとされます。私達は、賢人達の歴史をヒントにして少子化問題の改善策を講じる必要があると思います。

<参考文献>

安田尚義：高鍋藩史話 昭和 43年

高鍋観光協会：高鍋学のすすめ 2013

カット

## 相撲体操の思い出

延岡市 ほうしやま ほうしやま ひろし  
子どもクリニック 宝珠山 弘

大相撲をTVで見ている内にフト小学3年生時の運動会で相撲体操を全員でやったことを思い出した。“シコをどんとふみや 大地がユレル さあっと手を上げ 相撲オドリ エンヤサのコラショ どっこいしょのエンヤサア きたえよ 体とミガケヨ心”これがその時の文句である。

ふんどし姿で何も忘れてシコをふんだ。すがすがしい気持ちだった。幼児の時の病気でランニングが思うように出来ない私の数少ない種目の運動会に母は毎年ベントウをもって来てくれた。

相撲体操が終ったのが昼近くで母の所にベントウ食べにかけよった。母が思わず今日のヒロシ君は異って目の色が光っている。とっても母さん嬉しいよ。「今年の運動会に来てよかった」と嬉しそうに云った。“お殿様でも家来でも 風呂に入るときはみんな裸 カミシモヌイデ刃もすてて...”とある如く「この精神で正々堂々と気にしないでやればよい」と云った母の言葉を思い出した。ボンヤリ見ているスポーツでも角度を変えたと教訓は多いようだ。

人生には2度、3度と節目(転機)があるようだ。以来出場種目の少ない、そして消極的だった私も、暴れん坊將軍じゃないけれど「ハチマキ取り」「柱たおし」「川中島」「つな引き」はもちろん大いにやった。健康あっての人生だ。いつも初心に帰り将棋の「歩」の心をもって進むことも大切と思っている。第一の節目の相撲体操とその時の昼食のおいしかったことを今でも思い出している。

## 言はで思ふぞ

高鍋町 坂田病院 さか た もろ みち  
坂 田 師 通

清少納言の世界を通して知る中宮定子は、私の幼い日の憧れの女性でした。左大臣道長に通じているのではないかと他の女房に疑いをかけられて、里下がりをしている清少納言のもとに定子から手紙が届き、そこには山吹の花びら一枚があって、その花びらに「言はで思ふぞ」としか書かれていなかった件は、何度も読み返したものです。「言はで思ふぞ」は古今六帖の歌の下の句の一文であり、当時の衣服の山吹色は梔子くちなしを染料として染めたものであったので、疑いに対して沈黙を守っている清少納言の心を思っ山吹の花びらを送られたのでした。

定子の父である中関白道隆の死後、権力を持った叔父道長は、娘の彰子を入内させるために「二后並立」という禁じ手を使い、また定子の兄の伊周と隆家を花山院への不敬事件の罪で配流するという卑怯なやり方で権力を掌握しました。そんな中で、「言はで思ふぞ」は、定子の心の叫びではなかったかと私は思うのです。

よく利用するタクシーの運転手が、「先生、言葉というものは恐ろしいものですよ。言葉は、人間の百八の煩惱から発せられるものです。特に男はチンチンが勃つ間は、煩惱がどこかにありますから、どんなに美しい言葉でも逆に人を傷つけることがありますよ。私はね、チャップリンの劇が人々に支持される理由がそこにあると思うのですよ」と話してくれたことがありました。その瞬間私の中で中宮定子への思慕が復活し、「言はで思ふぞ」の意味が少し理解できたのを覚えています。「言はで思ふぞ」こそ、人間の

一つの品格なのだと。

これをお読みの先生方，“夜の往診”と称して西橘通り周辺で羽を伸ばしてばかりおられると、奥様は「言はで思ふぞ」の心を持って、台所で包丁を研いでおられるかもしれません。そうですよね称専寺の住職さま！

「心には下ゆく水のわきかへり言はで思ふぞ言ふにまされる」(古今六帖)



カット

## 医師法 21条

宮崎市 高宮病院 たか高 みや宮 ま真 き樹

「医師は、死体又は妊娠4か月以上の死産児を検案して異状があると認めたときは、24時間以内に所轄警察署に届け出なければならない」が21条の条文である。その趣旨は、厚労省健康政策局編の医療法・医師法解(平成6年発行 第16版)によると、「死体又は死産児には、時とすると殺人、傷害致死、死体損壊、堕胎の犯罪の痕跡をとどめている場合があるので、司法警察上の便宜のためにそれらの異状を発見した場合の届出

義務を規定したものである」。

これに対して、平成6年に日本法医学会が「異状死ガイドライン」を作成し、異状死体を「確実に診断された内因性疾患で死亡したことが明らかである死体以外の全ての死体」と拡大定義したことで臨床現場での混乱がはじまった。このガイドラインには、転落・転倒、気道内異物等の不慮の事故から自死、診療関連死にいたるあらゆる死亡が含まれている。不慮の事故や自死については2条にかかわらず警察に届けることは必要と思われるが、診療関連死についてはいかがなものか。今後は検案で外表に異状のない診療関連死は警察に届け出るのではなく、来年度には創設されるであろう外部事故調査機関に届け出るのが良いと思われる。しかも、平成24年10月26日の「厚労省、医療事故に係る調査の仕組み等のあり方に関する検討部会」の席上、当時の田原課長は「厚労省が診療関連死について届け出るべきと申し上げたことはない。リスクマネジメントマニュアル作成指針は、国立病院などに対して示したもので、そのほかの医療関係者がこれに拘束されることはない。医師法21条については、最高裁で死体の外表を検査して異状を認めた場合には警察署に届け出ることが必要であるということが示されている」と発言されている。これで結着がつくと信じたい。無用な届け出によって業務上過失致死で事情聴取、送検、逮捕され、心に傷を負う医師をこれ以上増やさないことが求められている。

## 自 句 自 解

宮崎市 石川外科胃腸科医院 石川 誠一

## 春暁の栗鼠切株の上に立ち

朝早く奈良の若草山の近くを散歩していると、リスが小走りに走ってきて切株の上に登った。手を胸のあたりに当ててあたりを見回した。春暁の句が作りたかった。

## 穂高より遠く夕焼の雲立てり

上高地へ行き、夕方雪の残る穂高岳を見た。穂高岳よりもっと遠くに夕焼けの雲が立っていた。穂高岳より美しいと思った。

## 雪国の雪のなかより春灯

白馬岳の裾の白馬村に行った。民家の屋根に雪が高く積もり軒にも雪が積もっていた。雪の中から春灯が漏れていた。

## 乗鞍を空に浮かべて花林檎

飛騨の高山から乗鞍岳がよく見えた。手前に林檎の花がいっぱい咲いていた。そして乗鞍の残雪が青空の中に浮かんでいるように見えた。

## 鯉がのむ秋海棠の花しづく

高千穂の浄専寺の池に秋海棠が咲き、花が垂れて池に触れそうだった。花の雫が池に落ちて、鯉の口に吸われた。

## 穴太き火吹竹とは知らざりし

木城町の中之又の夜神樂を見に行った。民家に泊まり、私は庭の火を焚く役をもらった。火吹竹をいくら吹いても風が出ない。息が抜ける。肺が悪くなったのかと思ったが、火吹竹の穴が大きくなっているのが分かった。

## 鼻鳴らし馬が草食む野焼あと

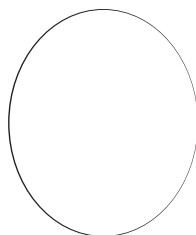
都井岬の山焼は大きい火は上がらない。馬が草を食んでいるから枯れ草が少ない。火がそこに来ても馬たちは平気である。草の燃えた後に残った草を食んでいる。枯れ草の燃えかすが鼻に入ると鼻を鳴らす。

## エコー・リレー

( 46回 )

( 南から北へ北から南へ )

## テレビは離れて見なさい

宮崎市 宮崎江南病院 <sup>かきつばた</sup> 杜 <sup>よう</sup> 若 <sup>すけ</sup> 陽 祐

“ 眼が悪くなるからテレビは離れて見なさい ” と子どもの頃はよく言われた。今はパソコンやスマートフォンでも動画を見られる時代で、画面と眼の距離は 1 m 以下。しかし、パソコンやスマホは眼に悪い

から離れて見なさいという話は聞かない。本当に眼に悪くないのだろうか？

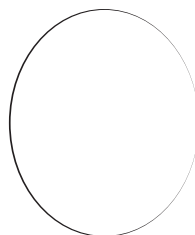
仕事柄、モニターの画像を注視することが多いので、その性能には注意を払っている。以前使用していた CRT モニター( ブラウン管 )の時にはあまり感じなかったが、液晶モニター、特に高精細モニターになってからは頭重感、肩こりなどが出るようになった。何が原因かわからないけど、ノングレア( 非光沢 )のモニターを選び、解像度を落し、明るさやコントラストを調整して対処している。モニター診断は便利になったが、眼には悪影響を与えているのではないかと思う。

最近のテレビも 4 K , 8 K とますます高解像になってきている。今のハイビジョンテレビでも十分に綺麗だと思うのだけど、どこまで高解像化が進むのだろう？画面も大きくなり、昔のテレビでははっきり見えなかった皮膚のスポットも明瞭だ。こちらもなんだかマズイものを見てしまった気持ちにもなる。出演者にとって高解像化は厄難に違いない( うちの奥さんもテレビには出ないと言っている )。

パソコンもテレビも仕事や生活に欠かせないものである。企業には高解像もいいけれど、誰の眼にも優しく、自然に見えるモニターの開発を望んでいる。

〔 次回は、宮崎市の木原 康先生にお願いします 〕

## 小児科医のつぶやき

延岡市 <sup>ほうしやま</sup> 子どもクリニック <sup>ほうしやま</sup> 宝珠山 <sup>あつ</sup> 厚 <sup>お</sup> 生

twitter 最近 公につぶやき  
反感を呼び炎上してるのを見ることがある、自分もマスクの下から “ こんな検査希望まで対応いるのかな？ ” “ 点滴までは流石に ” … とたまにつぶやく。寝言は寝てから、独り言は自分にだけ聞こえるように言わないと。

一流選手 世界をまたぎ活躍する選手の大半は、何事にも動じない、多少嫌われる感じもするが、それだけの自信がないとやっていけない。自分も小児科医として親たちの大丈夫か？ 様々な問いに威厳のある安心できる返答をせねば二流キープも危うい。

初期設定 相変わらず診察室にまでゲームを離せない小学生がいる、親を見てるとあ～と思うが、聞けば毎日 2 時間程度だと平気で言う、100 円小銭を渡し、たまに 500 円渡せば嬉しく思う。15 分ゲームをし、たまに 30 分にしたら嬉しく思うはず。僕のおこずかいもたまに増えると嬉しい、妻の初期設定は上手だ。

しつけ 漢字では身に美しい( 躰 )と書く。とある番組で親が子をしつけるには “ 言葉はいらない、自分自身がしっかりすればいい ” と。まさにそんな気もする。儚い( はかない )、人の夢ってやはり儚いもんなか？

栄養 ラン馬鹿してる、昨年は年間 3,665 歩走り今年も月 28 日平均、300 歩。雷と夜間急病勤務以外は会議の後も走る、最近妻の鏡でふくらはぎの筋肉を眺めるのが楽しみである。ランの本を読み食事のことを余計気にしビタミン含め知識も増えた、仕事柄アトピーなど食事指導にはもちろん自分の健康にも役立ってる。走る歩くは健康の原点、食事・睡眠・ストレス発散…もう少し若い時期に認識しておけばよかった。座右の銘 犠牲なくして収穫なし・意思あるとろに道あり・粉骨砕身・謙虚さ。一応自分の座右の銘である。立派な言葉だが、どれだけこなせてるか恥ずかしく、また情けなく思うことが多い。国民一人ひとりが、“ 初心忘るべからず ” と思うことが一番だと思っている。

〔 次回は、宮崎市の上山 貴子先生にお願いします 〕

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 5 月 ～

平成 26 年 4 月 28 日 ～ 平成 26 年 6 月 1 日( 第 18 週 ～ 22 週 )

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 ○結核 16 例 保健所別報告数を【図 1】に示した。  
患者が 11 例、無症状病原体保有者が 3 例、疑似症患者在 2 例であった。患者は肺結核が 8 例、その他の結核では結核性胸膜炎が 2 例、腸結核が 1 例であった【表 1】。性別は男性 7 例・女性 9 例で、年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類 ○腸管出血性大腸菌感染症 1 例 小林保健所管内で報告された。

・無症状病原体保有者で、10 歳代であった。原因菌の O 血清型は O 128 V T 1 産生。

4 類 ○重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 2 例 いずれも宮崎市保健所管内で報告された。

・患者は 70 歳代で、発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、消化管出血がみられた。発症して約 1 週間後に死亡。

・患者は 80 歳代で、発熱、下痢、血小板減少、白血球減少がみられた。発症して約 1 週間後に死亡。

○日本紅斑熱 1 例 日南保健所管内で報告された。患者は 30 歳代で、発熱、刺し口、発疹、肝機能異常がみられた。

5 類 ○アメーバ赤痢 1 例 日南保健所管内で報告された。患者は 70 歳代で、下痢、粘血便、しぶり腹がみられた。

○急性脳炎 1 例 宮崎市保健所管内で報告された。患者は 3 歳で、意識障害、髄液細胞数の増加、歩行障害、企図振戦、小声、ミオクローヌス、構音障害がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症 2 例 いずれも宮崎市保健所管内で報告された。

・患者は 1 歳で、発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症がみられた。

・患者は 70 歳代で、発熱、咳、全身倦怠感、肺炎、菌血症がみられた。

○風しん 1 例 宮崎市保健所管内で報告された。患者は 30 歳代男性で臨床診断例であった。発疹、発熱、リンパ節腫脹、頭痛がみられた。

○梅毒 1 例 宮崎市保健所管内で報告された。無症状病原体保有者で、20 歳代女性であった。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 4,346 人( 定点あたり 127.3 )で、前月比 100% と横ばいであった。また、例年の 95% とやや少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、百日咳であった。

咽頭結膜熱の報告数は 232 人( 6.4 )で前月の約 1.5 倍、例

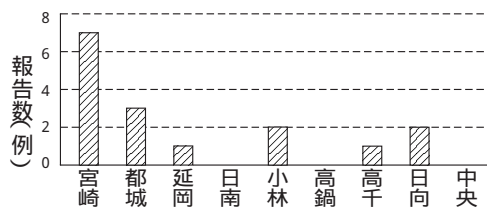


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数( 例 )

|           |   |
|-----------|---|
| 肺結核       | 8 |
| その他の結核    | 3 |
| 無症状病原体保有者 | 3 |
| 疑似症患者     | 2 |

表 2 結核 年齢別報告数( 例 )

| 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 90歳代 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1    | 4    | 1    | 1    | 1    | 4    | 3    | 1    |

前月との比較

|                    | 2014 年 5 月 |              | 2014 年 4 月 |              | 例年との比較 |
|--------------------|------------|--------------|------------|--------------|--------|
|                    | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) |        |
| インフルエンザ            | 267        | 4.5          | 1,304      | 22.1         |        |
| RS ウイルス感染症         | 20         | 0.6          | 50         | 1.4          |        |
| 咽頭結膜熱              | 232        | 6.4          | 153        | 4.3          |        |
| 溶レン菌咽頭炎            | 426        | 11.8         | 263        | 7.3          |        |
| 感染性胃腸炎             | 2,224      | 61.8         | 2,302      | 63.9         |        |
| 水痘                 | 347        | 9.6          | 165        | 4.6          |        |
| 手足口病               | 409        | 11.4         | 233        | 6.5          |        |
| 伝染性紅斑              | 19         | 0.5          | 5          | 0.1          |        |
| 突発性発しん             | 203        | 5.6          | 169        | 4.7          |        |
| 百日咳                | 8          | 0.2          | 1          | 0.0          |        |
| ヘルパンギーナ            | 84         | 2.3          | 6          | 0.2          |        |
| 流行性耳下腺炎            | 36         | 1.0          | 24         | 0.7          |        |
| 急性出血性結膜炎           | 0          | 0.0          | 1          | 0.2          |        |
| 流行性角結膜炎            | 54         | 9.0          | 56         | 9.3          |        |
| 細菌性髄膜炎             | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| 無菌性髄膜炎             | 0          | 0.0          | 1          | 0.1          |        |
| マイコプラズマ肺炎          | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| クラミジア肺炎            | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルス) | 17         | 2.4          | 17         | 2.4          |        |

例年同時期( 過去 3 年の平均 )より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年の約 1.4 倍であった。中央( 29.0)、日南( 19.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 6 か月～ 2 歳が全体の約 6 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌感染症の報告数は 426 人( 11.8)で前月の約 1.4 倍、例年の約 0.8 倍であった。延岡( 31.8)保健所からの報告が多く、年齢別では 4～6 歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は 409 人( 11.4)で前月の約 1.4 倍、例年の約 2.2 倍であった。高千穂( 20.0)、中央( 16.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 84 人( 2.3)で前月の約 14 倍、例年の約 0.7 倍であった。小林( 6.7)、日向( 5.3)保健所からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。

## ■ 病原体検出情報(微生物部)

|      | 検 出 病 原 体                 | 件 |
|------|---------------------------|---|
| ウイルス | インフルエンザ A 型               | 1 |
|      | インフルエンザ A 型 16m d 09 型    | 2 |
|      | インフルエンザ B 型(山形系統)         | 4 |
|      | ライノウイルス                   | 1 |
| 細菌   | Bordetella pertussis(百日咳) | 2 |
|      | EPEC(OUT HUT eae)         | 1 |

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 5 月

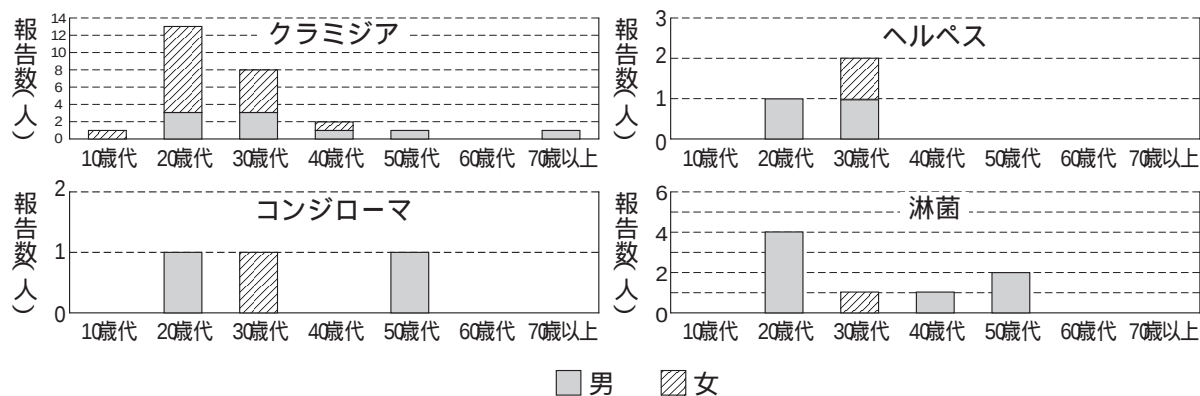
### □ 性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は 40 人( 3.1)で、前月比 105%と増加した。また、昨年 5 月( 3.5)の約 9 割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数 26 人( 2.0)で、前月の約 1.4 倍、昨年 5 月の約 9 割であった。20 歳代が全体の約半数を占めた( 男性 9 人・女性 17 人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数 3 人( 0.23)で、前月と同程度、昨年 5 月の約 4 割であった( 男性 2 人、女性 1 人)。
- 尖圭コンジローマ 報告数 3 人( 0.23)で、前月と同程度、昨年 5 月の約 3 倍であった( 男性 2 人、女性 1 人)。
- 淋菌感染症 報告数 8 人( 0.62)で、前月、昨年 5 月と同程度であった。20 歳代が全体の約半数を占めた( 男性 7 人、女性 1 人)。



### □ 薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

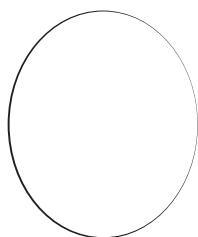
定点医療機関からの報告総数は 26 人( 3.7)で前月比 137%と増加した。また昨年 5 月( 3.4)の約 1.1 倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数 24 人( 3.4)で、前月の約 1.3 倍、昨年 5 月と同程度であった。70 歳以上が全体の約 6 割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数 2 人( 0.29)で、前月、昨年 5 月の約 2 倍であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 宮崎大学医学部だより

感染症学講座  
- 寄生虫学分野 -まるやま はるひこ  
丸山 治彦 教授

平成 18 年 10 月に丸山が教授に就任してから、今年の 10 月で 8 年になります。当時は人数も少なかったのですが、現在の陣容は、教員が教授 1 名、准教授 1 名(菊地泰生)、助教 2 名(吉田彩

子、長安英治)の計 4 名で、外国人研究員 2 名と日本人博士研究員 1 名が在籍しています。学生は、博士課程、修士課程、研究者育成コースの医学科 2 年生がそれぞれ 1 名ずつで、これに農学部獣医学科の堀井・野中研究室の研究生や学生もやって来ます。研究者・学生以外では、非常勤の事務職員と技術補佐員が各 1 名おり、結構にぎやかなことになっております。

当研究室では前任の名和行文教授の時代から寄生虫症の血清診断をやっており、全国の医療機関から送られてくるサンプルを検査しています。サンプルのほとんどは血清や胸水などで抗体検査がメインですが、「虫だと思うので鑑別を」といって、なにやら得体の知れない物体が送られてくることもあります。大抵は寄生虫ではないのですが、まれに「当たり」のこともあり、油断は禁物です。

最近になっての特記事項といえば、いわゆる熱帯病治療薬研究班の班長を引き受けてしまったことと、基礎研究の重心がかなり寄生虫のゲノムに移ってきたことでしょうか。熱帯病治療薬研究班では、これまでも新規診断法の研究や国内寄生虫症の発生動向のまとめなどを担当していましたが、まさか班長などという柄にもないことになろうとは予想だにしていま

した。現在、全国 31 の医療機関のご協力を得て、熱帯病・寄生虫症の国内未承認薬を用いた治療を実施しております。「熱帯から帰国後に発熱した」などのような患者さんに遭遇されましたら、ぜひともご連絡ください。

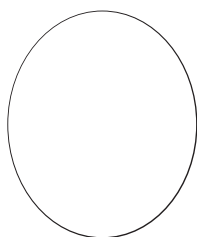
寄生虫のゲノム研究は、実は微生物学の林哲也先生に唆されて長年扱っていたベネズエラ糞線虫というネズミの寄生虫を材料に始めたのですが、とりかかってみると中々大変で、真核生物のゲノムというのは一筋縄ではいかないというのを痛感しています。ただ、研究の過程で英国サンガー研究所との共同研究に発展したり、サンガーでゲノム研究に従事していた菊地さんに准教授で来てもらったりと、最初は考えてなかった展開になっており、今後が楽しみです。

寄生虫ゲノム解読では、今年になって芽殖孤虫という寄生虫に着手しました。芽殖孤虫は文字通り謎の寄生虫で、わが国で 1905 年に最初の症例が東京で発見され、飯島魁によって記載、命名されて以来、全世界におけるこれまでの患者数は十数例。分かっているのはマンソン孤虫と近縁の条虫の幼虫ということだけです。感染経路不明、治療法なしで、感染したら「ワサビの根のよう」と表現される虫体が皮下をはじめとした体内各臓器で増え続け、皮下や内部臓器に多発性の腫瘤を形成して組織を破壊し患者さんは死に至ります。現在、国立科学博物館で維持されていた虫体からゲノム DNA を抽出したところで、研究の結果何が分かるのか、大変に興味深いところです。

医学部で寄生虫学の看板を掲げているところは少ないのですが、今後とも当研究室がわが国における「寄生虫の砦」となるよう精進して参ります。どうかご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。(丸山 治彦)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

### ( 内 科 医 会 )



こ ま き ひ と し  
小 牧 斎 会 長

平成 26年 4 月 1 日より会長を務めさせていただくことになりました。前々任の志多武彦先生の会長時は常任理事として 8 年、前任の栗林忠信先生の会長時は副会長として 6 年と県内科医会には既に 14 年以上にわたり関わらせていただいています。今までの経験を生かしながら、宮崎県内科医会のために一意専心の気持ちをもってことにあたろうと思っています。

新体制につきましては、副会長には宮崎市から弘野修一先生、都城から田口利文先生、延岡から野村朝清先生にお願いしました。更に常任理事として、前任の中津留邦展先生に留任していただいております。また 13 名の理事の先生方と 2 名の監事の先生方については当内科医会ホームページに掲載しておりますので一度お目通しいただければ幸いです。

現在、県内科医会の会員数は A 会員 300 名、B 会員 14 名の大所帯です。会の目的は、医道の高揚・学術の研鑽・医業経営の改善等にあります。その事業を行うにあたり、理事会を年 4 回ほど開催しますが、評議委員会、総会の承認を得る必要があります。また各種委員会として学術委員会、医療保険委員会、会誌編集委員会を擁しています。学術委員会は学術の研鑽の目的で、学術講演会・研究会など企画します。医療保険委員会は医業経営の改善を目的に、医療保険に関する情報の共有化、審査基準の情報開示など行います。会誌編集委員会では広報担当として年 2 回の会誌発行をしています。内容は、特別

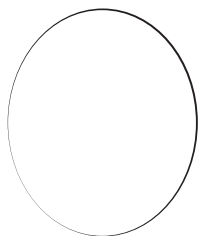
寄稿、会員からの投稿論文、卒後研修のための Postgraduate Education、他科からの提言、親睦の場としての随筆・写真・短歌など、内科医会の動向を知っていただくために、会計報告や日本臨床内科医会における理事会・代議員会参加報告などから構成されています。充実した内容は九州各県内科医会内でも引けを取りません。

一方、九州各県内科医会との横の連携を図るために毎年 1 回九州各県持ち回りで、九州ブロックでの会議が開催されます。基本的には、医療行政に関する話し合いが九州各県内科医会連絡協議会、医療保険に関する話し合いが九州各県内科審査員懇話会でそれぞれ討議されます。特に後者では、各県の保険診療の実情を述べ合うとともに、審査基準の標準化、社保・国保の審査基準の摺合せの場として貴重な会合となっています。

全国的な規模での内科系組織としては日本臨床内科医会があり、毎年総会および医学会が開催されますが、当会としても積極的に参加し連携を図っています。日本臨床内科医会は、1985 年に臨床内科医学体系の確立を志し、内科診療を通じて国民医療の向上を期することを目的に結成されています。その目的を達成するための事業として、臨床内科学に関する調査研究、保険医療の改善・向上ならびに介護保険制度の検討、学会の開催および生涯研修の実践、会誌の刊行と広報などがあります。特に会誌は、実診療にもとづく、実践的な医療指南書として会員には重宝がられています。

以上、今後とも本会の事業推進にご指導ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。  
(小牧 斎)

## メディアの目



## 大量の治療領収書と母の思い

テレビ宮崎 報道部長

さか もと ひで みつ  
坂 元 秀 光

生まれながらの股関節脱臼、3歳の時に高熱で意識不明の重体。死の淵から生還できたのは、母の愛と知らずに育ち、成人、結婚、子育て、もう55歳になりました。

生まれて間もなくの赤ちゃん健診で股関節脱臼がわかり(右か左かは忘れたと母)、週に一度の県立宮崎病院通い。農作業を父ひとりに任せ、おんぶして歩いて4km、バスで10km、一年間の通院。そのおかげで、歩く頃には健常者になったそうです。

この話を聞いたのは、20歳の頃。もう時効だからと、大量の診察料領収書を見せてくれたあと処分したのを覚えています。

母は、子供に恨まれることだけはしたくないと、必死に病院に通ったそうです。それでも完治しなかった場合に備え、大量の領収書を証拠として残していました。話してくれた当時は、ただ「ありがとう...」、何の感情もなかったような気がします。経済的に裕福でない家庭に育ち、放置されてもおかしくないのに、よくも治療費が続いたものだと母の錬金術にも頭が下がります。

55歳になった今、8歳と年を取った母に、改めての感謝の言葉も言えず、30年続けている正月のお年玉でごまかしています。

五体満足に治療で治してくれたおかげで、中学野球を楽しみ、アマチュア無線を楽しみ、電気工学を学び、夢に見たテレビ局技術入社。全てのわがまま的な夢が実現できたのは、五体満足にしてくれた医療技術と母の愛だと常に感謝しています。

2000年前後、制作ディレクター時代、旧満州・上海・南京・内モンゴル自治区など中国各地8回取材、オーロラ取材でスウェーデン・アラスカなどマイナス20度以下の世界北極圏2回取材。ローカル局では有り得ない取材機会に恵まれました。両親に見てきた話を面白おかしく聞かせ、戦争中の話、世界の自然現象の話、親子で盛り上がった後、いつも考えたのは、健康な体と体力があったからできたこと。また両親に感謝でした。

小児股関節脱臼をリハビリで治して55年。今度は、8歳の父が左股関節を人工骨に取り換える手術を宮崎大学医学部附属病院で受けました。農作業に出られなかった父がゆっくりながら農作業復活。母と共に軽ワゴン車で買い物にも行けるようになりました。

進んだ医療技術に感謝です。今日も年老いた両親は楽しみのために農作業に出ています。

## 薬事情報センターだより ( 326)

## 新薬紹介( その 70)

今回は 4 月に薬価収載された抗悪性腫瘍剤ジ  
オトリフ錠 20ng・30ng・40ng・50ng( 一般名 ア  
ファチニブマレイン酸塩)と 5 月に薬価収載され  
た抗ウイルス化学療法剤テノゼット錠 300ng( 一  
般名 テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩)に  
ついて紹介いたします。

ジオトリフ錠 20ng・30ng・40ng・50ng( 一般名  
アファチニブマレイン酸塩)

ジオトリフ錠( 一般名 アファチニブマレイン  
酸塩)は、上皮成長因子受容体 Epidermal Growth  
Factor Receptor( EGFR) のチロシンキナーゼド  
メインの ATP 結合部位に共有結合することで、  
不可逆的な阻害作用を示すと考えられています。  
本剤は、EGFR と同様に ErbB ファミリーに属す  
る HER 2 並びに ErbB 4 についても、細胞内チロ  
シンキナーゼ領域における ATP 結合部位に共有  
結合することにより、チロシンキナーゼのリン  
酸化を選択的に阻害する世界初の不可逆的 ErbB  
ファミリー阻害剤です。

本剤は、2014 年 1 月までに米国、EU をはじめ  
とする 40 以上の国と地域で EGFR 遺伝子変異陽  
性の非小細胞肺癌患者( 国・地域によって承認内  
容が異なる)に対する治療薬として承認されてい  
ます。本邦においては、2014 年 1 月に「EGFR 遺  
伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌」  
を効能・効果として承認され、5 月に日本ペー  
リンガーインゲルハイム株式会社から発売され  
ました。

化学療法未治療の EGFR 遺伝子変異を有する  
非小細胞肺癌患者を対象とした国際共同第 Ⅲ 相  
臨床試験において、安全性評価対象 229 例( 日  
本人 54 例を含む)中 228 例( 99.6%)に副作用が認  
められ、主な副作用は、下痢 218 例( 95.2%)、発  
疹 141 例( 61.6%) 等でした( 承認時)。また、化学  
療法既治療の非小細胞肺癌患者を対象とした国  
内第 Ⅲ 相臨床試験の第 Ⅲ 相部分において、安  
全性評価対象 62 例中全例( 100.0%)に副作用が認  
められ、主な副作用は、下痢 62 例( 100.0%)、発  
疹 52 例( 83.9%) 等でした( 承認時)。なお、重大  
な副作用として、間質性肺疾患、重度の下痢、  
重度の皮膚障害、肝不全、肝機能障害、心障害、  
皮膚粘膜眼症候群( Stevens-Johnson 症候群)、  
消化管潰瘍、消化管出血が報告されています。

テノゼット錠 300ng( 一般名 テノホビル ジソ  
プロキシルフマル酸塩)

テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩は体内  
でジエステル加水分解によりテノホビルに代  
謝され、さらに細胞内でテノホビルニリン酸に  
代謝されます。テノホビルニリン酸は天然基質  
であるデオキシアデノシン 5'-三リン酸と競合的  
に働いて HBV -DNA ポリメラーゼを阻害し、DN  
A に取り込まれた後は、チェーンターミネーター  
として HBV -DNA 複製を阻害します。テノホビ  
ルニリン酸は、哺乳類 DNA ポリメラーゼ  $\alpha$ 、 $\beta$   
及びミトコンドリアの DNA ポリメラーゼ  $\gamma$  に対  
して弱い阻害作用を示します。

テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩は、我  
が国では、2004 年 4 月に製品名「ビリアード錠  
300ng」の名称で HIV -1 感染症治療薬として販売  
が開始されました。一方、B 型慢性肝疾患の治  
療薬としては、2013 年 11 月 2 日までに世界 113 の  
国・地域で承認されています。本邦では、「B 型  
肝炎ウイルスの増殖を伴い肝機能の異常が確認  
された B 型慢性肝疾患における B 型肝炎ウイル  
スの増殖抑制」を効能・効果として、2014 年 3 月  
に承認され、5 月にグラクソ・スミスクライン  
株式会社から発売されました。

国内臨床試験( 投与期間 48 週間)において、総  
症例 143 例中 33 例( 23.1%)に臨床検査値異常を含  
む副作用が報告されました。その主なものは、  
肝機能検査値異常( AST、ALT 及び  $\gamma$ -GTP 増加  
等)7 例( 4.9%)、クレアチニン増加 4 例( 2.8%)  
等でした( 承認時)。なお、重大な副作用として、  
腎不全等の重度の腎機能障害、乳酸アシドーシ  
ス及び脂肪沈着による重度の肝腫大( 脂肪肝)、  
膵炎が報告されています。

## 参考資料

ジオトリフ錠 20ng・30ng・40ng・50ng、  
テノゼット錠 300ng 各添付文書・インタビュー  
フォーム

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)



## あなたできますか？

— 平成 25 年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 69 ページ )

1. 公費医療の対象とならないのはどれか。
  - a 生活保護法による医療扶助
  - b 労働基準法による業務上疾病の治療
  - c 麻薬及び向精神薬取締法による措置入院
  - d 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による措置入院
  - e 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律による結核患者の入院
2. 最近 5 年間の我が国の年間妊産婦死亡数はどれか。
  - a 約 50 人/年
  - b 約 100 人/年
  - c 約 200 人/年
  - d 約 500 人/年
  - e 約 1,000 人/年
3. 喫煙と飲酒の両方がリスクファクターとなるのはどれか。
  - a 胃癌
  - b 結腸癌
  - c 食道癌
  - d 皮膚癌
  - e 子宮体癌
4. 緩和医療における全人的苦痛について正しいのはどれか。
  - a 社会的苦痛への対応を優先する。
  - b 精神的苦痛には傾聴が有効である。
  - c 家庭内問題による苦痛には対応しない。
  - d スピリチュアルペインは身体的苦痛として対応する。
  - e 身体的苦痛にはオピオイドの急速静注が必要である。
5. 高齢者が自室内で心肺停止状態で発見された。外因死を最も強く示唆するのはどれか。
  - a 吐血
  - b 尿失禁
  - c 瞳孔不同
  - d 角膜混濁
  - e 鮮紅色の死斑
6. 虹彩ルベオシスの原因となるのはどれか。
  - a 黄斑円孔
  - b 加齢黄斑変性
  - c 網膜色素変性
  - d 網膜中心静脈閉塞症
  - e 中心性漿液性脈絡網膜症
7. 心臓・脈管の構造と機能について正しいのはどれか。2 つ選べ。
  - a 左心系は右心系の左後方に位置する。
  - b 健康成人の心膜液は 200~ 300ml である。
  - c Valsalva 洞は大動脈弁直下の左室内に存在する。
  - d 左冠動脈は房室結節の血流の主たる供給源である。
  - e 房室弁に付着する腱索は心室収縮時に牽引される。
8. 乳児期のけいれんの原因となるのはどれか。2 つ選べ。
  - a 低血糖症
  - b 高尿酸血症
  - c 低カリウム血症
  - d 低カルシウム血症
  - e 高マグネシウム血症
9. 心臓機能停止の傷病者に対する救急救命士の特定行為はどれか。3 つ選べ。
  - a 気管挿管
  - b アトロピン投与
  - c 中心静脈路確保
  - d アドレナリン投与
  - e 乳酸リンゲル液輸液
10. 6 歳の女性。腹痛を主訴に来院した。本日、自宅近くの診療所で大腸の内視鏡的ポリープ切除術を受けた。帰宅後、深夜に突然左下腹部痛が出現し、2 時間ほどしても軽快しないため救急外来を受診した。意識は清明。体温 36.2。脈拍 72 分、整。血圧 112/70mmHg。呼吸数 14 分。腹部は平坦で、左下腹部に圧痛を認める。筋性防御と反跳痛とは認めない。  
血液検査に加え、まず行うべきなのはどれか。
  - a 腹部 MRI
  - b 注腸造影
  - c 試験開腹
  - d 胸腹部エックス線撮影
  - e 下部消化管内視鏡検査

## 宮崎県医師会医学会役員会

と き 平成 26年 6 月 12日(木)

ところ 県医師会館

上田理事より開会，稲倉学会長の挨拶に続き，報告，協議が行われた。

### 報 告

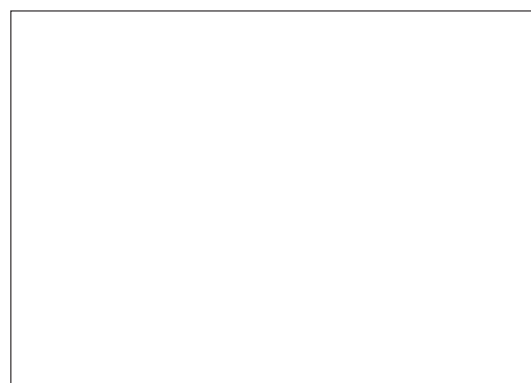
平成 25年度宮崎県医師会医学会について

平成 25年 9 月 7 日に「重症熱性血小板減少症候群について」「iPS細胞と再生医療」をテーマとし開催した。「日本における重症熱性血小板減少症候群：疫学・臨床・ウイルス学」と題し，国立感染症研究所ウイルス第一部長の西條政幸先生に，「iPS /ES 由来網膜組織を用いた網膜再生医療」と題し，理化学研究所発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト副プロジェクトリーダーの万代道子先生にご講演いただき，出席者は8名であった。

### 協 議

平成 26年度宮崎県医師会医学会の開催について

9 月 6 日(土)に県医師会館で開催する医学会に



ついて，テーマ等の検討を行った。様々な案が出されたが，遺伝子診断，輸入感染症にテーマを絞り講師を選定することになった。

出席者 - 稲倉学会長，富田・中山副学会長，  
小牧・三宅・戸田・田尻・安達・杜若・  
蓑田・上田幹事，直井県医理事  
事務局 - 久永課長，高山主事

### お 知 ら せ

## クールビズについて

県医師会では，地球温暖化防止に向け，平成 26年 5 月 1 日より平成 26年 10月 31日までの間，県医師会館の冷房設定温度を上げ，常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため，ご理解とご協力をお願いいたします。

## 第 25 回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

と き 平成 26 年 4 月 22 日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

本年度医師国家試験に合格し、本県で初めて臨床研修を行う医師 52 名(医科 46 名, 歯科 6 名)を対象として保険診療等説明会並びに祝賀会を開催した。

説明会は、立元常任理事の司会により開会し、富田副会長から「保険診療」、濱田常任理事から「医事紛争」、池井常任理事から「県医師会への入会案内」、古賀常任理事から「宮崎県臨床研修運営協議会」、立元常任理事から「医師協同組合賛助会員」について、それぞれ説明を行った。

祝賀会は、県から知事・福祉保健部長・病院局次長、宮崎大学から菅沼学長・丸山医学部長・吉原病院長・各教室教授・医局長・卒後臨床研修センター関係各位及び県内の基幹型・協力型臨床研修病院の関係各位並びに本会役員が出席した。

立元常任理事の司会により開会。稲倉会長が

主催者挨拶を行い、河野知事、菅沼学長、御両名から研修医への激励の言葉を頂戴した。次いで本年度の新研修医を代表して、高石真那斗先生がお礼の言葉を述べた。続いて豊田県立宮崎病院長が乾杯の発声。宴の席上では、新研修医の自己紹介が行われ盛会の裡に終了した。

なお、本会から各研修医には記念の印鑑を贈呈した。

### 平成 26 年度新研修医

宮崎大学医学部  
市来伸彦  
後田優香  
緒方祥吾  
尾崎公威  
押川一達  
落合彰子  
川野真嗣  
坂元一樹  
椎葉望史  
下田貴史  
鈴木あ  
高石真那斗  
竹村成一  
原彩美

田平優貴  
津曲省吾  
中津留佳菜子  
中村仁彦  
梶田一旭  
服部洋平  
原藤優佳  
樋口和宏  
福井喜朗  
松尾倫子  
三宅那央  
山内賢  
山山下恵  
山嶋友実  
吉留綾

吉永一郎  
興杵智子  
鬼塚研志  
黒塚美帆  
清木健介  
財部由唯  
廣瀬裕美  
藤雄亨修  
立木宮崎  
川村圭祐  
内越健太郎  
水田剛史  
川光洋輔  
横山佳奈

林 亜紀  
宇都加寿子  
江藤博文  
西川陽太郎  
県立日南病院  
北島潤弥  
井口公貴  
加治屋智子  
古賀総合病院  
田中治成  
宮崎生協病院  
井上一利

## 医師国保組合だより

### 「医師国保組合加入者の所得調査」ご協力をお願い

この度、厚生労働省からの通知により、「国民健康保険組合の被保険者に係る地方税法の規定による市町村民税の課税標準額の調査」を実施することとなりました。

この調査は「所得調査」と呼ばれ、平成 26年に実施されてから 5 年ぶりの調査となります。今後の国保組合に対する国庫補助額の適切な算定、及び、医療保険制度の基礎資料として利用することを目的としています。

調査時期その他につきましては、下記のとおりです。

1. 調査時期  
平成 26年 7 月
2. 調査対象者  
組合員及びその家族
3. 調査対象組合員の抽出率  
平成 26年 5 月 1 日現在の組合員数の 4 分の 3
4. 調査対象組合員の抽出  
宮崎県福祉保健部国保・援護課が、国の示した算定方法により抽出します。
5. 調査方法  
対象組合員の先生方に、世帯員全員の委任状をご提出いただいた上で、当組合が代理人として市町村から「所得課税証明書」を取り寄せ、調査票の作成を行います。  
なお、個人情報保護規定に基づき、適切な管理に努め、本調査の目的以外に使用することはありません。

対象組合員の先生方には、7 月上旬に文書を送付いたします。大変ご面倒をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 「国民健康保険高齢受給者証」対象者の方へ

平成 26年 8 月 1 日より高齢受給者証が更新されます。更新にあたり、受診した際の負担割合を算定するために年に 1 度、所得を確認する書類等の提出をお願いしております。対象の方には 6 月下旬に依頼文書を送付しておりますので、内容をご確認の上、必要書類を送付していただきますようお願い申し上げます。

(お知らせ)

申請書の各種様式は、宮崎県医師国民健康保険組合ホームページからダウンロードできます。

<http://www.miyazakimed.or.jp/kokuho/>

## 日医インターネットニュースから

### ■ 都道府県の権限強化に懸念相次ぐ — 参院厚生労働委で与野党 —

地域医療構想(ビジョン)を実現するため、都道府県の権限を強化することを懸念する声が、6月12日の参院厚生労働委員会で与野党の議員から相次いだ。

参院厚生労働委で審議中の医療・介護一括法案には、病床の機能分化と連携を推進するための制度改正が盛り込まれており、勧告などに従わない医療機関に対し、都道府県が地域医療支援病院や特定機能病院の承認取り消し・不承認の措置を取ることもできるようになっている。

同日の質疑では、福島瑞穂氏(社民)が「都道府県の知事や職員が、勝手な地域医療構想を押し付ける場合があるかもしれない。病院側の判断が正しくて、知事の判断が間違っている場合もあるかもしれないのに、実質的に医療機関が廃院になるような権限を都道府県知事に与えてしまってもいいのか」とたどした。

これに対し、厚生労働省の原徳壽医政局長は「いきなり医療機関がお取りつぶしになるわけではない。地域医療構想を策定する段階で十分に話し合ってもらおう。その上で、なかなか機能がうまく当てはまらない場合は、できるだけ『協議の場』を設け、当事者同士も含めて議論してもらおう」と説明。それでも納得しない医療機関があったとしても、その医療機関の言い分を聞いたり、医療審議会の意見を聞くなどした上で、最終的な判断を下すことになるため、知事が権限を乱用することは考えていないとした。

一方、木村義雄氏(自民)は「知事が不当な運営を行った場合、所管大臣としてどう対応するのか」と質問。

田村憲久厚生労働相は「地域医療構想を策定する時には『協議の場』を設け、関係者からいろんな意見をもらうことになっている。『医療審議会は信用できない』という話も(木村氏から)あったが、医療審議会が正常に機能すれば、知事は事実上そこで出される意見に従わなければならないだろう」と説明。さらに「明らかにおかしい点

がある場合は、厚生省として知事に一定の対応を促すこともあり得る」と応じた。

また長沢広明氏(公明)は「知事が特定の民間病院を狙い撃ちにする恐れがある。そういうことがないように配慮することが必要だ」とくぎを刺した。(平成 26 年 6 月 17 日)

### ■ 「患者申出療養」への見解を改めて説明 — 中川副会長 —

中川俊男副会長は6月18日、記者会見を行い、規制改革会議が提言した「患者申出療養(仮称)」に対する日医の考え方について改めて説明した。

中川副会長はまず、規制改革会議が当初提案していた「選択療養制度(仮称)」について、将来の保険収載につながらない医療も対象としており、安全性・有効性も確保されていない等の問題があることから、その創設に強く反対してきたことを説明。「選択療養制度(仮称)」のような制度が提案される背景にはドラッグ・ラグがあるとされる点に関しては、(1)日本ではドラッグ・ラグの短縮が進んでいる(2)ドラッグ・ラグと言われるものの中には日本にはない病気の薬も含まれている(3)ドラッグ・ラグはどの国にも存在する—等を挙げ、ドラッグ・ラグが解決しそうでないから選択療養が必要という論拠は崩れているとするとともに、先進医療会議のがん治療専門家の構成員による日本の医療現場の現状を説明する発言も紹介し、現行制度でも十分に対応は出来ているとした。

その一方で、同副会長は、現行の先進医療について、「先進医療 A は現在 56 種類あるが、眼科の手術を除き、実施医療機関は限られていること」などを示し、患者アクセスが困難な面もあると指摘。そういった意味では、今回の「患者申出療養(仮称)」によって、現行制度では対象とすることが出来なかった患者に光をさすことも出来るのではないかと述べた。

また、実施医療機関として「規制改革に関する第 2 次答申」の中に示されている「身近な医療機関」については、大学病院本院あるいは同程度の機能をもつ病院に限定すべきと指摘。大学病院

本院を主とする特定機能病院に関しては、「医療法改正で承認要件の見直しをしたところであるが、厳格に運用し、必要があれば再度要件を見直すことも検討していきたい」とした。

さらに、「患者申出療養(仮称)」の実施医療機関である臨床研究中核病院においてディオバン臨床研究不正問題等が起きていることにも触れ、今後は、臨床研究中核病院評価会議等での議論を通じてしっかり監督していく意向を示すとともに、「日医としても、医師の倫理向上のための研修等を行い、日本発の科学情報の信頼性の向上に努めていきたい」と述べた。

(平成 26年 6月 20日)

## ■スプリンクラー義務化の範囲拡大へ — 消防基準改正案 —

医療機関にスプリンクラーの設置を義務付ける範囲の拡大などを含む消防設備基準の見直し内容がまとまった。総務省消防庁の「有床診療所・病院火災対策検討部会」が 6月 19日の会合で合意。消防庁は、消防設備基準を定めている消防法施行令の改正準備を進める。政令改正案はパブリックコメントの募集を経て 8月の公布を目指す。既存の医療機関については公布から約 1年の猶予期間を設け、2025年 7月から義務化する方針だ。

スプリンクラーの設置については複数の免除要件を設定した上で、全ての有床医療機関に原則義務付ける。延べ面積 300平方メートル未満の病院と診療所で、標榜科が 産科 婦人科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 歯科 肛門外科 泌尿器科 小児科 乳腺外科 形成外科 美容外科—の場合などは免除する。

### ●夜間見守り職員配置で免除も

300平方メートル未満の病院については 許可病床が精神病床、感染症病床、結核病床の場合 夜間の見守り体制として許可病床 13床当たり職員 1人の体制—のいずれかに該当した場合も設置を免除する。夜間見守り体制の「職員」については、病院に勤務している職員であれば職種は問わず、看護師・准看護師だけでなく事務職員やボイラー技士などでも可能とする。配置が求められる人数は 100床の病院で 8人、60床では 5人になる。

300平方メートル未満の有床診療については 3床以下 前年の 1日平均入院患者数が 1人未満(新施設は対象外)—の場合はスプリンクラー設置を免除する。

### ●簡易な水道連結型も

延べ面積が 200平方メートル未満の有床診療のうち、手術室やレントゲン室などの部分を除く延べ面積が 100平方メートル未満の場合は、鉄板などの不燃材料で除外部分の壁と床を区画し、開口部は不燃材料戸を設置すれば、通常より水压が低い簡易な「水道連結型スプリンクラー」の設置で差し支えないとする。

### ●自動通報装置、全有床施設で義務化

火災報知器と連動して消防機関へ自動通報する装置の設置と、消火器の設置は、全ての有床医療機関の義務とする。現行の消防設備基準で自動通報装置の設置が特例的に免除となっていた、消防機関から「500メートル以内」に立地する医療機関も義務化の対象にする。

(平成 26年 6月 24日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10桁の数字)を 0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の 6桁の数字を半角で入力  
例) 1965年 5月 1日生まれの場合、610501

## お知らせ

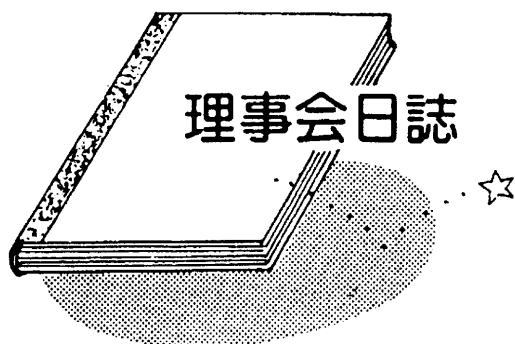
平成 26 年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

|                                                           |                                                          |                                                        |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 宮崎学園短期大学<br>(宮崎市)                                         | 宮崎医療管理専門学校<br>(宮崎市)                                      | 都城コアカレッジ<br>(都城市)                                      |
| 就職希望者 18 名<br>(女 18 名)                                    | 就職希望者 16 名<br>(男 1 名, 女 15 名)                            | 就職希望者 11 名<br>(女 11 名)                                 |
| 連絡先: 0985-85-0146<br>宮崎市清武町加納丙 1415<br>担当: 佐土原 敦<br>倉永 愛子 | 連絡先: 0985-86-2271<br>宮崎市田野町甲 1556-1<br>担当: 平島しおり<br>福元 進 | 連絡先: 0986-38-4811<br>都城市吉尾町 77-8<br>担当: 吉原真由美<br>中山さおり |



平成 26年 5 月 20日(火)第 5 回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 臓器別診療科再編等に関する要請書について  
要請書の内容の検討を行い、宮崎大学医学部附属病院の吉原病院長宛に提出することが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について  
宮崎県社会福祉審議会委員の推薦について  
→社会福祉に関する事項を調査審議する審議会委員の推薦依頼であり、次期の会長が就任することが承認された。
3. 5 /27( 県医 )第 159回県医臨時代議員会について  
県医役員等改選に伴う候補受付が本日 17時に終了し、候補者が確定したことが報告された。また、代議員会当日の役割分担等が協議され、仮議長には増田代議員、議事録署名人は田中代議員と済陽代議員にお願いすることが承認された。
4. 平成 26年度宮崎県総合防災訓練にかかる第 1 回関係機関会議の開催について  
会議開催の 1 週間前の急な案内であり、担当理事は出席できないので、事務局が出席することが承認された。

5. 平成 26年度「ピンクリボン活動みやざき」に係る協賛及びグッズ購入について

県民一人ひとりに「乳がんの早期発見・早期治療」のメッセージを発し、行動に繋がる啓発活動を実施することを目的に実施される活動への協力依頼で、協賛を行うことが承認された。

##### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 5 /16( 福岡 )九州地方社会保険医療協議会総会について
3. 5 /19( 県庁 )県移植推進財団理事会について
4. 保険医療機関の指定取り消し報道について
5. 5 /18( 日医 )日医在宅医療支援フォーラムについて
6. 5 /19( 県立看護大学 )県立看護大学参与会について
7. 5 /16( 岡山 )日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 6 /1( 東京 )横倉義武日医会長候補選挙事務所開きの開催について  
稲倉委員長と事務局が出席することが承認された。
2. 6 /1( ニューウェルシティ )厚生労働大臣田村憲久先生を囲んでの昼食会について  
稲倉委員長が上京のため、河野副委員長が出席することが承認された。

平成 26年 5 月 27日(火) 第 1 回理事会

#### 議案・協議・報告事項及び会議の内容

##### (1)定足数の確認等

定款第 4 条の規定に基づき、稲倉会長が議長となり、出席確認を行った上で、第 1 回理

事会の成立と開会を宣言した。

議事録署名人は、定款第 5 条の規定により、  
稲倉会長、赤須・小牧監事とし、職務執行状  
況の報告、議案、協議の順で審議を進めた。

#### (2) 議案の審議状況及び議決結果等

稲倉会長から、本年 3 月 11 日の平成 25 年度  
第 2 回理事会以降、全理事協議会を 1 回、常  
任理事協議会を 7 回開催し、その都度、資料  
と共に協議会の議事録を送り報告を行ってい  
るとの説明があり、質問等を確認した上で、  
定款第 3 条第 2 項に規定する職務執行状況の  
報告とした。

#### 医師会関係

##### ( 議案議決事項 )

#### 1 . 第 159 回臨時代議員会に関する件

立元常任理事から、この後開催される第 159  
回臨時代議員会の議事進行が説明された。次  
期理事の数については、定款施行細則第 1 条  
第 3 項の規定により、選出されるべき理事の  
数は、当該選挙の際、代議員会において決定  
するとの説明があり、定款第 3 条により、理  
事は 15 名以上 23 名以内( 会長、副会長、常任  
理事を含む )であり、現行の理事定数は 20 名  
であるが、次期理事の定数については、業務  
量等も勘案して 22 名( 会長 1 名、副会長 2 名  
を含む[ 会長・副会長を除くと 19 名 ] )とする  
案が示され、審議の結果、出席者全員の賛成  
をもって原案通り可決承認された。この後開  
催される第 159 回臨時代議員会で、次期理事  
数を 22 名として上程することとなった。

##### ( 議決事項 )

#### 1 . 6 / 29 ( 日医 ) 第 133 回日本医師会臨時代議員 会における九州ブロック代表質問・個人質問 について

次期日医代議員 4 名に質問の有無が確認さ  
れ、立元日医代議員会から、「日医役員選挙  
の際、現職役員が立候補する場合の辞任の要

否について」の質問事項を、6 月 7 日開催の  
九医連常任委員・九州各県医師会次期会長合  
同会議に提出することが承認された。

#### 2 . 6 / 10 ( 火 ) 宮観ホテル 第 2 回理事会の開催に ついて

6 / 21 ( 土 ) 開催の定例代議員会への議案につ  
いて検討するため、理事会の次第等が説明さ  
れ、6 / 10 ( 火 ) に開催する事が承認された。ま  
た、新旧理事の業務引継ぎについても、併せ  
て同日に開催することが承認された。

#### 3 . 6 / 21 ( 土 ) ( 県医 ) 平成 26 年度第 71 回本会総会に ついて

総会次第について検討等が行われ、新たに  
功労会員表彰が設けられた。当日は、記念撮  
影から総会終了後の懇談会まで河野知事に参  
加していただくことになっている。当日の運  
営を承認し、案内を取り急ぎ発出することと  
する。

#### 4 . 本会外の役員等の推薦について

新生児聴覚検査・療育体制連携強化事業協  
議会委員の推薦及び就任について

→ 新生児の聴覚障がい早期発見・治療等  
の支援体制推進を図るための協議会であり、  
任期満了に伴う推薦依頼があり、県耳鼻咽  
喉科医会・産婦人科医会・小児科医会に再  
任の意向を確認し、辞任の場合は推薦して  
もらうことが承認された。

宮崎県後期高齢者医療広域連合運営懇話会  
委員の確認及び推薦について

→ 広域連合会長の諮問機関として、後期高  
齢者医療制度に関連する事項について広く  
意見を求めるために設置される懇話会で、  
任期満了に伴う推薦依頼があり、次期の  
介護保険担当理事を推薦することが承認さ  
れた。

## 5. 業務委託について

平成 26年度元気みやざき「心とからだ」健康  
教育推進事業「性に関する相談事業」委託契  
約について

→ 10代の人工妊娠中絶，性感染症，性の逸  
脱行動等の性に関する諸問題を解決するた  
めに，児童生徒，教職員及び保護者に対し  
て専門医による相談事業の委託契約で，引  
き続き契約を締結することが承認された。

## 6. 母体保護法指定医指定申請について

要件の確認作業等が完了したことから，古  
賀総合病院を就業場所とする新規指定医 1 名  
が承認された。

## 7. 後援・共催名義等使用許可について

後援名義使用許可のお願いについて  
→ 宮崎市で県民を対象に開催される，目の  
健康講座の講演会の名義後援を行うことが  
承認された。

## 8. 6・7月の行事予定について

6月の追加行事と7月の行事の確認が行わ  
れた。

## (報告事項)

1. 5/20(火) 日医)日医理事会について
2. 5/24(土) 県医)死体検案研修会について
3. 5/25(日) 県医)県医監事監査について
4. 4/23(火) 県医)医家芸術展世話人会について
5. 5/26(木) 県医)勤務医部会理事会について
6. 5/27(金) 東京)日医・米国研究製薬工業協会  
(PhRMA)共催シンポジウムについて
7. 5/31(金) 県医)広報委員会について
8. 5/26(木) 県医)広報委員会について
9. 5/26(木) 県医)学校医部会理事・評議員会に  
ついて

## 医師国保組合関係

## (報告事項)

1. 4/28(木) 県医)医師国保組合理事会について
2. 5/22(木) 県医)医師国保組合理事会について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

1. 5/20(火) 東京)国民医療を守る議員の会総会  
について

平成 26年 6 月 3 日(火)第 6 回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 医師確保に関する要請書(案)について【再  
提出】

5月20日(火)開催の常任理事協議会で検討を  
行った要請書について，再度内容の検討を行  
い，宮崎大学医学部附属病院の吉原病院長宛  
に提出することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

9/28(日)宮崎県介護福祉士会中央研修会に  
関する名義後援について

→「平穏死を考える」をテーマに，介護福祉  
士の研修会として講演とシンポジウムが開  
催され，名義後援を行うことが承認された。

3. 平成 26年度救急医療功労者の厚生労働大臣表  
彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保，救急  
医療体制の推進に貢献した団体及び個人に対  
し，その功績をたたえ救急医療関係者の意識  
の高揚を図り，もって，救急医療体制の一層  
の充実強化に資することを目的の厚生労働大  
臣の表彰であり，候補者 1 名を推薦すること  
が承認された。

4. 6/21(土) 県医)県医代議員会等の開催に  
ついて

当日のスケジュール等の確認が行われ，医  
師協同組合総代会，医師連盟執行委員会，定  
例代議員会，臨時理事会，臨時代議員会，被  
表彰者記念撮影，総会，懇談会を開催するこ  
とが承認された。

- 5 . 6 / 29日(日) 日医 第 133 回日本医師会臨時代議員会における九州ブロック代表質問・個人質問について【再提出】

5 月 2 日開催の理事会で検討を行った「日医役員選挙の際、現職役員が立候補する場合の辞任の要否について」の質問事項について、再度内容の検討が行われ、6 月 7 日開催の九医連常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議に提出することが承認された。

- 6 . 7 / 11日(土) 京都 京都府医師会在宅医療実地研修会について

在宅医療における知識・技術など全ての医師に必要とされる様々な技術や新しい手技の獲得と修練に資するため京都府医師会館に設立された「京都府医療トレーニングセンター」の視察を兼ねて、実地研修会に担当副会長、担当理事、事務局が参加することが承認された。

( 報告事項 )

- 1 . 5 月末日現在の会員数について
- 2 . 5 / 13日(土) 福岡 宮崎県ゆかりの福岡都市圏医師との交流会について
- 3 . 6 / 1日(日) 東京 横倉義武日医会長候補選挙対策本部事務所開きについて
- 4 . 6 / 13日(火) 県医 県学校保健会理事・評議員会について
- 5 . 6 / 13日(火) 県医 学校保健・学校安全に係る表彰審査会について
- 6 . 5 / 28日(火) 宮崎労働局 労災診療指導委員会について
- 7 . 5 / 30日(金) 九州厚生局宮崎事務所 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
- 8 . 5 / 27日(火) 県医 県医臨時代議員会について
- 9 . 5 / 28日(火) 県医 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
- 10 . 6 / 1日(日) シーガイア 病院部会・医療法人部会合同研修会について

医師連盟関係

( 報告事項 )

- 1 . 6 / 1日(日) MRT 厚生労働大臣田村憲久先生を囲んでの昼食会について
- 2 . 6 / 1日(日) MRT 参議院議員長峯誠政経セミナーについて

( 協議事項 )

- 1 . 6 / 7日(土) 第一宮銀ビル TPP( 環太平洋パートナーシップ ) 協定に関する説明会の開催について

TPP 政府対策本部から政府職員を招き、TPP 協定に関する説明会を開催する案内であり、執行委員と事務局が出席することが承認された。

平成 26 年 6 月 10 日(火) 第 2 回理事会

議案・協議・報告事項及び会議の内容

(1) 定足数の確認等

定款第 4 条の規定に基づき、稲倉会長が議長となり、出席確認を行った上で、第 2 回理事会の成立と開会を宣言した。( 開会時、理事出席数 1 名( 石川常任理事・直井理事遅参 ) ) 議事録署名人は、定款第 50 条の規定により、稲倉会長、赤須・小牧監事とし、職務執行状況の報告、議案、協議の順で審議を進めた。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

稲倉会長から、本年 5 月 2 日の平成 26 年度第 1 回理事会以降、常任理事協議会を 1 回開催し、資料と共に協議会の議事録を送り報告を行っているとの説明があり、質問等を確認した上で、定款第 3 条第 2 項に規定する職務執行状況の報告とした。

医師会関係

( 議案議決事項 )

- 1 . 平成 25 年度宮崎県医師会事業報告に関する件  
河野副会長から、平成 24 年度から 4 つの公

益事業と収益事業を含むその他の事業に分け、事業計画にそった形で、文字の羅列ではなく箇条書きを用い、項目が多いため目次及びページの見出しを設置する等の変更を行った上で事業報告を作成したとの説明があり、審議の結果、軽微な変更は会長一任として、出席者全員(石川常任理事は遅参のため18名)の賛成をもって原案通り可決承認された。

2. 平成 25年度宮崎県医師会収支決算に関する件

吉田常任理事から、経常収益計4億4,666万3,499円、経常費用計3億8,155万5,612円で、当期一般正味財産増減額は6,510万7,887円となっており、2年度から1,824万6千円の増となっている。資金収支計算では、2年度比で収支差額がマイナス6,100万円余りであり、職員の退職金制度を見直し、旧制度で一旦支給したことに伴う支出増で、退職等取崩収入7,100万円余りの増で補てんしており、結果として2年度比982万6千円の収支差額が増となっている。貸借対照表では、固定資産の減少を上回る負債の減少があり、正味財産合計は2年度比6,503万7千円の増となり、順調に推移している。

正味財産増減内訳書については、欄外で公益目的事業比率を計算しており、70.2%となり50%以上という基準を満たしている。収支相償については、614万5,154円を公益事業に繰り入れても公益事業会計は541万8,821円のマイナスとなり、収支相償の基準を満たしている。正味財産増減計算書は、各会計を1つとして主な増減要因を記載している。貸借対照表については、欄外記載のとおり遊休財産額が公益目的支出額を上回って不適合となっているが、3月の理事会で2年度当初1億円の長期借入金の繰り上げ返済を承認いただいたので、返済後の遊休財産額は適合となるので監督官庁には説明できる等の説明が行

われた。

続いて赤須監事から、証憑書類も整備され適正妥当であるとの監査報告があり、審議の結果、出席者全員(石川常任理事は遅参のため18名)の賛成をもって原案通り可決承認された。

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険医代表)の推薦について

→保険医代表の整形外科審査員が退任されたことに伴う、後任委員の推薦依頼であり、県整形外科医会に推薦を依頼することが承認された。

宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について

→はり・きゅう・マッサージ、柔道整復師等の療養費適正化に伴う研究会委員の推薦依頼であり、県整形外科医会に推薦を依頼し、河野副会長とも相談し、推薦することが承認された。

宮崎県総合計画審議会委員の委嘱について

→県総合計画「未来みやざき創造プラン」の「アクションプラン」について、平成26年3月までに策定することとなっており、次期会長への就任依頼であり、河野次期会長が就任することが承認された。

宮崎県高齢者サービス総合調整推進会議委員の推薦について

→高齢者サービスの調整等を行う会議委員の推薦依頼であり、次期介護保険担当理事が就任することが承認された。

宮崎県福祉サービス運営適正化委員会委員の任期満了に伴う委員候補者の推薦について

福祉サービスの利用援助事業の運営監視、苦情解決の委員会委員の推薦依頼であり、

次期介護保険担当理事が就任することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

7 / 27日( 宮大医学部 )平成 26年度全国禁煙アドバイザー育成講師会 in 宮崎の後援について

→禁煙支援に携わる医療者教育関係者が学ぶことができる講習会であり、行政・医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・歯科衛生士が参加予定であり、名義後援を行うことが承認された。

3. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり産科医療に従事し、地域の産科医療の確保・推進に貢献してきた医師を表彰するものであり、1 名を推薦することが承認された。

4. 6 / 21日( 県医 )平成 26年度第 71回総会 役割分担について

次第にそって進行及び役割分担の確認が行われた。16 35から河野知事にも入っていただき被表彰者記念撮影を行い、17 00に総会を開会。総会終了後、18 00から懇談会となっている。当日のその他行事として、14 30~ 医師協同組合総代会、15 10~ 県医師連盟執行委員会、15 45~ 定例代議員会、16 10~ 臨時理事会、16 20~ 臨時代議員会を予定していることが説明された。

5. 内部規程の施行承認について

公益社団法人移行に伴い、見直しの必要な既存内部規定と未整備の規程について適正な事務執行のために整備しておくことが必要等の説明があり、施行期日を平成 26 年 4 月 1 日として、対象規程一覧のとおり、規程の制定、改訂についてと会館管理人規程の廃止を含めて承認された。

6. 8 / 23日・24日( 宮崎 )まつり宮崎 2014における救急搬送時対応へのご協力について

まつり宮崎開催に伴う、来場者のけがや急病人発生時に医療機関での患者対応への周知依頼であり、宮崎市夜間急病センターや二次・三次医療施設へは、宮崎放送が直接、別途、協力依頼しており、県医師会としては了知をすることが承認された。

7. 業務委託について

平成 26年度生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について

→がん検診等における検診従事者の育成・確保とがん検診等の診断技術の向上を目的に、TV 会議システム等を利用し実施される研修事業等であり、契約を締結することが承認された。

平成 26年度へき地出張診療所医療業務に係る業務の委託契約について

→市町村が設置する県内 7 つのへき地出張診療所に医師を派遣する事業で、契約を締結することが承認された。

平成 26年度県立学校医等に係る報酬基準額について

→県立高等学校、特別支援学校の生徒への学校医報酬であり、基本給、内科管理指導費、検診料、内科・精神内科・整形外科加算等の額が示され、契約を締結することが承認された。

( 報告事項 )

1. 週間報告について

2. 6 / 4日( 県医 )県アイバンク協会理事会について

3. 6 / 5日( 県庁 )県移植推進財団評議員会について

4. 6 / 7日( 沖縄 )九医連常任委員・次期会長合同会議について

- |                                                      |                                              |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 5 . 6 /9 (月) 宮日会館 )宮日母子福祉事業団評議員会について                 | 10. 6 /9 (月) 県医 )日 医 認 証 局 ヒ ア リ ン グ に つ い て |
| 6 . 6 /7 (土) 沖縄 )九医連常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会について        | 11. 6 /7 (土) 県医 )勤務医部会理事会について                |
| 7 . 6 /7 (土) 沖縄 )九州ブロック日医代議員( 含・次期 )連絡会議について         | 12. 6 /7 (土) 県医 )勤務医部会総会・講演会について             |
| 8 . 6 /1 (日) 北九州 )e レジフェアについて                        | 13. 5 /30 (金) 栃木 )全国メディカルコントロール協議会連絡会について    |
| 9 . 6 /6 (金) 宮大医学部 )宮大医学部附属病院マツチング& 基幹型臨床研修病院説明会について | 14. 6 /9 (月) 県医 )園医部会理事会について                 |

## 女性医師メーリングリストのご案内

仕事や育児のちょっとした悩み相談やお役立ち情報の提供など、女性医師同士で気軽に情報交換を行いませんか。女性医師であればどなたでも参加できます。医師会の会員・非会員、現在の仕事の有無などは問いません。

お申し込み

E-mail: [wdr-admin@miyazaki-med.or.jp](mailto:wdr-admin@miyazaki-med.or.jp)

FAX : 0985-27-6550

「女性医師メーリングリスト申込書」は、宮崎県医師会ホームページのDoctors Pageからダウンロードできます。

お問い合わせ

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 野尻・竹崎

## お知らせ

( 県社会保険労務士会より )

### 「宮崎医療労務管理相談コーナー」を開設しました

院長先生，事務長様労務管理のご相談にご利用下さい。

宮崎県社会保険労務士会では，平成 26 年 4 月 1 日から，宮崎労働局からの委託を受けて，「宮崎医療労務管理相談コーナー」を開設いたしました。

この相談コーナーは，医療機関が自主的に策定する勤務環境改善計画の策定，実施，評価等の各段階で，ワンストップで，かつ専門家等の助言等により，個々の医療機関のニーズに応じて主として労務管理面における支援を行うことを目的に設置されたものです。

社会保険労務士は，労働法令に精通したものとして国家資格で認められた労務管理の専門家であり，この相談コーナーでは県下に 18 名の医療労務管理アドバイザーを配置し，県内医療機関からの労務管理全般に亘る相談を受け付け，助言を行ないます。

医療機関の職場における労務管理の改善は，大きな経営課題の一つです。

この相談コーナーを積極的にご利用下さい。

#### 記

名 称 宮崎医療労務管理相談コーナー

開設時間 午前 9 00～午後 5 00 月曜～金曜日( 祝日等を除く )

開設場所 宮崎市大和町 83-2 鮫島ビル 1 階 宮崎県社会保険労務士会内

電話番号 0985-20-8160( 宮崎県社会保険労務士会 )

相談方法 電話相談

対面相談( 要予約 / 相談コーナーにて相談実施 )

訪問相談( 要予約 / アドバイザーが貴医療機関を訪問します )

相談内容 労働時間管理・就業規則・賃金制度・安全衛生管理など医療機関の労務管理及び  
人事管理全般に関すること

費 用 無 料

そ の 他 ご不明な点等は，宮崎県社会保険労務士会へお尋ね下さい。

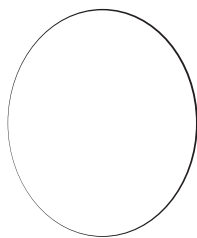
宮崎県社会保険労務士会ホームページ URL <http://www.srm-yazaki.jp>

# 県 医 の 動 き

( 6 月 )

|    |                                                                                                                                                                                     |    |                                                                                                 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | eレジフェア(北九州)<br>厚生労働大臣田村憲久先生を囲んでの昼食会<br>(河野副会長)<br>病院部会・医療法人部会合同研修会<br>(池井常任理事)<br>参議院議員長峯誠政経セミナー(河野副会長)<br>横倉義武日医会長候補選挙対策本部事務所開き<br>(東京ⅳ会長)                                         | 16 | 広報委員会(富田副会長他)<br>医師国保組合定例事務監査(秦理事長他)                                                            |
| 3  | 県学校保健会理事・評議員会(会長他)<br>学校保健・学校安全に係る表彰審査会(会長)<br>第6回常任理事協議会(会長他)                                                                                                                      | 17 | 日医理事会(日医ⅳ会長)<br>治験審査委員会(富田副会長他)<br>医協打合会(立元常任理事)<br>第7回常任理事協議会(河野副会長他)                          |
| 4  | 県アイバンク協会理事会(会長)                                                                                                                                                                     | 18 | 産業医研修会<br>医家芸術展世話人会(河野副会長他)                                                                     |
| 5  | 県移植推進財団評議員会(会長)<br>日産婦学会専門医制度委員会宮崎地方委員会                                                                                                                                             | 19 | 産業医研修会<br>県アイバンク協会評議員会(会長)<br>県有床診療所協議会役員会(会長他)                                                 |
| 6  | 宮大医学部附属病院マッチング&基幹型臨床研修病院説明会(会長他)<br>南那珂医師会定時総会(南那珂)                                                                                                                                 | 20 | 産業医研修会(実地)<br>県産婦人科医会情報システム・広報委員会<br>(濱田常任理事)                                                   |
| 7  | 勤務医部会理事会(荒木常任理事他)<br>九医連常任委員・次期会長合同会議(沖縄ⅳ会長)<br>勤務医部会総会・講演会(荒木常任理事他)<br>県内科医会総会・学術講演会(宮観ホテル)<br>九医連常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会(沖縄ⅳ会長他)<br>県整形外科医会理事会<br>九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議<br>(沖縄ⅳ会長他) | 21 | 医師協同組合総代会(会長他)<br>県医連執行委員会(会長他)<br>県医定例代議員会(会長他)<br>第3回理事会(河野会長他)<br>県医臨時代議員会(会長他)<br>県医総会(会長他) |
| 9  | 日医認証局ヒアリング(荒木常任理事)<br>宮日母子福祉事業団評議員会(会長)<br>園医部会理事会(会長他)                                                                                                                             | 23 | 宮大経営協議会・学長選考会議(稲倉先生)<br>広報委員会(荒木常任理事)<br>医師国保組合理事会(秦理事長他)<br>県産婦人科医会医療対策委員会医療安全部会<br>(濱田副会長)    |
| 10 | 医協理事会(会長他)<br>第2回理事会(会長他)<br>現執行部と次期執行部との引継ぎ懇談会(会長他)                                                                                                                                | 24 | 医協理事・運営委員合同協議会(会長他)<br>九州地区健康教育研究大会県実行委員会(会長)<br>医協理事会<br>児湯医師会総会(児湯)<br>第2回全理事協議会(会長他)         |
| 11 | 日医医療秘書認定試験委員会(日医ⅳ富田副会長)<br>支払基金幹事会(会長)<br>産業医研修会(都城)<br>県産婦人科医会献金委員会(濱田常任理事)                                                                                                        | 25 | 労災診療指導委員会(川野理事)<br>県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事他)                                                        |
| 12 | 県健康づくり協会理事会(富田副会長)<br>産業医研修会<br>県医師会医学役員会(会長他)<br>県整形外科医会会計監査<br>県産婦人科医会学術委員会(濱田常任理事)<br>県産婦人科医会常任理事会                                                                               | 26 | 西都市西児湯医師会定時総会(西都)<br>延岡市医師会定時総会(延岡)                                                             |
| 13 | 西諸医師会定時総会(西諸)<br>病院部会医療法人部会総会                                                                                                                                                       | 27 | 九州ブロック日医代議員連絡会議(東京ⅳ会長他)<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(会長)<br>予防接種広域化意見交換会(高村常任理事)                        |
|    |                                                                                                                                                                                     | 28 | 九州ブロック日医代議員連絡会議(日医ⅳ会長他)<br>日医定例代議員会(日医ⅳ会長他)<br>県産婦人科医会新生児蘇生法講習会<br>宮崎市郡医師会定時総会                  |
|    |                                                                                                                                                                                     | 29 | 九州ブロック日医代議員連絡会議(日医ⅳ会長他)<br>日医臨時代議員会(日医ⅳ会長他)                                                     |
|    |                                                                                                                                                                                     | 30 | 県立看護大学あり方検討委員会(会長)<br>県糖尿病対策推進会議小幹事会(金丸常任理事)                                                    |

## ニューメンバー

宮崎市  
杉田眼科医院いの うえ ゆ き  
井 上 由 希

住 所 宮崎市

専門科目 眼科

家族構成 夫，長女(中1)，  
次女(小3)，  
長男(年長)，  
次男(年長)

略 歴

平成 3 年 茨城県立日立第一高校卒業

平成 14年 宮崎医科大学卒業

平成 15年 宮崎医大眼科入局

趣 味 読書，エアロビクス

抱 負 平成 25年より宮崎市の杉田眼科医院に勤務しています。誠実な診療を行い，患者さんのお役に立ちたいと思っております。趣味のエアロビクスは1年ほど前から始めたばかりですが，明るい気持ちになれることや体を動かす楽しさに魅了されました。息長く続けていきたいです。

## 6 月のベストセラー

- |    |                             |                  |         |
|----|-----------------------------|------------------|---------|
| 1  | 叱られる力 聞く力 2                 | 阿 川 佐 和 子        | 文 藝 春 秋 |
| 2  | 「自分」の壁                      | 養 老 孟 司          | 新 潮 社   |
| 3  | 日本改革原案<br>2050年成熟国家への道      | 小 川 淳 也          | 光 文 社   |
| 4  | しない生活<br>煩悩を静める 108のお稽古     | 小 池 龍 之 介        | 幻 冬 舎   |
| 5  | だから日本はズレている                 | 古 市 憲 寿          | 新 潮 社   |
| 6  | 食べものだけで余命 3 か月のガンが消えた       | 高 遠 智 子          | 幻 冬 舎   |
| 7  | 富の不均衡バブル<br>2022年までの黄金の投資戦略 | 若 林 栄 四          | 日本実業出版社 |
| 8  | 虚ろな十字架                      | 東 野 圭 吾          | 光 文 社   |
| 9  | 野垂れ死にの覚悟                    | 曾 野 綾 子<br>近 藤 誠 | ベストセラーズ |
| 10 | 村上海賊の娘(上)(下)                | 和 田 竜            | 新 潮 社   |

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎ (0985) 23-7077

団体所得保障保険

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 26年 6 月 16日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1 . 求職者登録数 4 人

#### 1 ) 男性医師求職登録数 4 人 ( 人 )

| 希 望 診 療 科 目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 3     | 3   | 0     |
| 外 科         | 1     | 1   | 0     |

#### 2 ) 女性医師求職登録数 0 人

### 2 . 斡旋成立件数 49人

|             | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|-------------|------|------|-----|
| 平 成 26 年 度  | 1    | 1    | 2   |
| 平成 16年度から累計 | 35   | 14   | 49  |

### 3 . 求人登録 77件 310人 ( 人 )

| 募 集 診 療 科 目 | 求 人 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 95    | 72  | 23    |
| 外 科         | 35    | 28  | 7     |
| 整 形 外 科     | 27    | 22  | 5     |
| 精 神 科       | 14    | 12  | 2     |
| 循 環 器 科     | 6     | 6   | —     |
| 脳 神 経 外 科   | 10    | 8   | 2     |
| 消 化 器 内 科   | 15    | 12  | 3     |
| 麻 酔 科       | 12    | 8   | 4     |
| 眼 科         | 6     | 5   | 1     |
| 放 射 線 科     | 10    | 8   | 2     |
| 小 児 科       | 4     | 3   | 1     |
| 呼 吸 器 内 科   | 12    | 11  | 1     |
| リハビリテーション科  | 3     | 3   | —     |
| 総合診療科・内科    | 5     | 4   | 1     |
| 神 経 内 科     | 7     | 6   | 1     |
| 救 命 救 急 科   | 6     | 6   | —     |
| 健 診         | 5     | 2   | 3     |
| 産 婦 人 科     | 3     | 3   | —     |
| 泌 尿 器 科     | 1     | —   | 1     |
| 検 診         | 3     | 1   | 2     |
| 皮 膚 科       | 3     | 2   | 1     |
| 人 工 透 析     | 2     | 2   | —     |
| 在 宅 担 当 医   | 1     | 1   | —     |
| そ の 他       | 25    | 19  | 6     |
| 合 計         | 310   | 244 | 66    |

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                     | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                           | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------------|-------|-------------------------------------|-----|---------|
| 160011 | 赤十字血液センター                 | 宮 崎 市 | 検診                                  | 2   | 非常勤     |
| 160013 | 医 三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外 , 整 放 麻 , 内                      | 10  | 常勤・非常勤  |
| 160017 | 医 プレストピア プレストピアなんば病院      | 宮 崎 市 | 乳外 , 内 , 麻                          | 3   | 常勤      |
| 160020 | 財 弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精 , 内                               | 2   | 常勤      |
| 160031 | 社医 同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼 神内 眼 総診 呼外 ,<br>臨病 , 乳外 , 整外 , 麻酔 | 11  | 常勤      |
| 160033 | 医 如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                                   | 2   | 常勤      |
| 170046 | 医 社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内 内泌糖内 呼 リウマチ ,<br>神経内 健診          | 6   | 常勤・非常勤  |
| 170048 | 医 慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内 放 , 在宅医療                          | 3   | 常勤      |
| 170052 | 医 春光会                     | 宮 崎 市 | 外 , 内                               | 6   | 常勤・非常勤  |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院               | 宮 崎 市 | 内 神内 整 , 消内                         | 5   | 常勤      |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                 | 宮 崎 市 | 消内 呼内                               | 6   | 常勤      |
| 190094 | 医 耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 内 外 整                               | 8   | 常勤・非常勤  |
| 190095 | 医 慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                                   | 1   | 常勤      |
| 190096 | 医 晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮 崎 市 | 消化 麻 循 リハビリ                         | 5   | 常勤・非常勤  |
| 200104 | 医 社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内 外 救急 呼外 婦人                        | 7   | 常勤      |
| 200105 | 医 誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内 外 放                               | 3   | 常勤      |
| 210110 | 医 幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                                   | 1   | 常勤      |
| 210118 | 慈英病院                      | 宮 崎 市 | 内 外 整                               | 12  | 常勤・非常勤  |
| 230128 | 医 真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内 精                                 | 2   | 常勤      |
| 230132 | 医 康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 常勤      |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき        | 国 富 町 | 内 外                                 | 2   | 常勤      |
| 230140 | 医 将優会 クリニックうしたに           | 宮 崎 市 | 外 内 整 家庭医 総合臨床                      | 1   | 常勤      |
| 230141 | 医 博愛社 佐土原病院               | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 非常勤     |
| 230143 | 医 社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外 , 内                              | 2   | 常勤      |
| 230144 | 宮崎生協病院                    | 宮 崎 市 | 総内 呼吸内 消化器内 ,<br>健診                 | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230146 | 財 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内 神内 外 整外 脳外 ,<br>リハ 麻酔 救急 緩和ケア     | 10  | 常勤      |
| 230148 | 医 コムコ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外 形成外 外 麻酔                         | 8   | 常勤・非常勤  |
| 160008 | 医 正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                                   | 1   | 非常勤     |
| 160010 | 特医 敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内 消内 整 神内                           | 7   | 常勤・非常勤  |
| 160018 | 医 宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内 救急 放射 脳外 外 ,<br>眼 透内 皮膚           | 8   | 常勤      |
| 170057 | 医 清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内 外 整                               | 3   | 常勤      |
| 180064 | 国立病院機構都城病院                | 都 城 市 | 消内 内 呼内 総合内                         | 4   | 常勤      |
| 180081 | 医 恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                                   | 1   | 常勤      |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                 | 都 城 市 | 内 呼                                 | 6   | 常勤      |

| 登録番号   | 施 設 名           | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                          | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|-----------------|-------|------------------------------------|-----|---------|
| 210114 | 藤元総合病院          | 都 城 市 | 精 , 内                              | 3   | 常勤      |
| 230127 | 医 )倫生会 三州病院     | 都 城 市 | 外 , 内 , 整                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑   | 都 城 市 | 不問                                 | 1   | 常勤      |
| 230137 | 医 )宏仁会 海老原内科    | 都 城 市 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 230142 | 医 )魁成会 宮永病院     | 都 城 市 | 内 , リハビリ                           | 2   | 常勤      |
| 230150 | 医 )与州会 ウェルネス苑都城 | 都 城 市 | 不問                                 | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230153 | 都城健康サービスセンター    | 都 城 市 | 放 , 消内 , 消外 , 健診                   | 8   | 常勤・非常勤  |
| 230157 | 医 )一誠会 都城新生病院   | 都 城 市 | 精 , 内                              | 4   | 常勤・非常勤  |
| 160012 | 医 )伸和会 共立病院     | 延 岡 市 | 外 , 整 , 皮 , 放 , 内 , 消外             | 6   | 常勤      |
| 160021 | 医 )建悠会 吉田病院     | 延 岡 市 | 精                                  | 3   | 常勤・非常勤  |
| 160034 | 特医 )健寿会 黒木病院    | 延 岡 市 | 外 , 内 , 緩ケア                        | 6   | 常勤・非常勤  |
| 160036 | 医 )久康会 平田東九州病院  | 延 岡 市 | 内 , 外 , 麻 , 精 , 神内 , 脳神経 , 老施 , 心内 | 5   | 常勤・非常勤  |
| 190086 | 早田病院            | 延 岡 市 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 200100 | 医 )育生会 井上病院     | 延 岡 市 | 産婦 , 内 , 小                         | 3   | 常勤      |
| 200102 | 延岡市医師会病院        | 延 岡 市 | 消内                                 | 5   | 常勤      |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター     | 延 岡 市 | 内 , 小                              | 2   | 非常勤     |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ | 延 岡 市 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 230156 | 医 )中心会 野村病院     | 延 岡 市 | 内 , 外                              | 2   | 常勤      |
| 160039 | 医 )誠和会 和田病院     | 日 向 市 | 外 , 内 , 整 , 神内                     | 6   | 常勤      |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院     | 門 川 町 | 内                                  | 3   | 常勤      |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院   | 美 郷 町 | 内 , 整                              | 2   | 常勤      |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所  | 美 郷 町 | 内                                  | 1   | 常勤      |
| 160006 | 都農町国保病院         | 都 農 町 | 内 , 放 , 外                          | 3   | 常勤      |
| 160023 | 医 )宏仁会 海老原総合病院  | 高 鍋 町 | 整 , 内 , 総合診療 , 麻 , 眼 , 健診 , 循 , 脳  | 10  | 常勤・非常勤  |
| 160024 | 医 )隆徳会 鶴田病院     | 西 都 市 | 内 , 外                              | 2   | 常勤      |
| 150002 | 医 )慶明会 おび中央病院   | 日 南 市 | 内                                  | 4   | 常勤・非常勤  |
| 150003 | 医 )同仁会 谷口病院     | 日 南 市 | 精                                  | 1   | 常勤      |
| 160022 | 医 )愛鍼会 山元病院     | 日 南 市 | 内                                  | 2   | 常勤      |
| 160037 | 医 )十善会 県南病院     | 串 間 市 | 精 , 内(いずれか)                        | 1   | 常勤      |
| 170047 | 日南市立中部病院        | 日 南 市 | 内 , 外 , 整 , リハビリ , 在宅診療            | 5   | 常勤      |
| 180071 | 串間市民病院          | 串 間 市 | 内 , 外                              | 2   | 常勤      |
| 230138 | 小玉共立外科          | 日 南 市 | 不問                                 | 2   | 常勤・非常勤  |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里    | 日 南 市 | 内                                  | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160019 | 医 )相愛会 桑原記念病院   | 小 林 市 | 内 , 整 , 皮膚                         | 5   | 常勤・非常勤  |
| 170043 | 医 )和芳会 小林中央眼科   | 小 林 市 | 眼                                  | 2   | 常勤・非常勤  |
| 180067 | 小林市立病院          | 小 林 市 | 循 , 救急 , 産婦 , 放 , 小                | 10  | 常勤      |
| 180076 | 医 )友愛会 園田病院     | 小 林 市 | 外 , 内 , 整                          | 7   | 常勤・非常勤  |
| 190090 | 特医 )浩然会 内村病院    | 小 林 市 | 精 , 内                              | 3   | 常勤      |
| 190091 | 医 )友愛会 野尻中央病院   | 小 林 市 | 整 , 内                              | 4   | 常勤・非常勤  |
| 23055  | 医 )三和会 池田病院     | 小 林 市 | 脳外 , 整 , 麻 , 内 , 放射 , 外            | 7   | 常勤・非常勤  |
| 180070 | 高千穂町国保病院        | 高千穂町  | 内 , 透                              | 3   | 常勤      |
| 190088 | 日之影町国保病院        | 日之影町  | 内 , 整                              | 1   | 常勤      |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 26 年 6 月 16 日現在

|                 |                                                                                                       |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番，263 番<br>土地のみ：593.57 坪( 2022.17m <sup>2</sup> )<br>＜所有者 児湯医師会員<br>( 医 ) 崧雲会 林クリニック＞ |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | 宮崎市大字本郷南方 407 番<br>建物 鉄筋コンクリート 2 階建( 905m <sup>2</sup> )<br>駐車場 14 台分<br>別途職員専用駐車場有り<br>＜黒岩医院跡＞       |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100( 代 )・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26年 6 月 2日現在

| 7  |   |       |                                 | 月    |       |                                 |                  |
|----|---|-------|---------------------------------|------|-------|---------------------------------|------------------|
| 1  | 火 | 14 00 | 県総合計画審議会                        | 16 水 | 14 00 | 産業医研修会                          |                  |
|    |   | 18 00 | 治験審査委員会                         | 17 木 | 19 00 | 産業医研修会                          |                  |
|    |   | 19 00 | 第 8 回常任理事協議会                    | 18 金 |       |                                 |                  |
| 2  | 水 | 13 30 | 新人看護職員研修推進協議会                   | 19 土 | 11 30 | 県認知症高齢者グループホーム<br>連絡協議会理事会      | 国<br>保<br>審<br>査 |
| 3  | 木 | 13 30 | 全国国民健康保険組合協会理事長・<br>役員研修会       | 20 日 | 13 30 | 県認知症高齢者グループホーム<br>連絡協議会総会・全体研修会 |                  |
|    |   | 14 00 | 産業医研修会                          |      | 14 00 | 全国有床診療所連絡協議会総会                  |                  |
|    |   | 19 00 | 県内科医会理事会                        |      | 19 00 | 首都圏医師との交流会                      |                  |
| 4  | 金 | 16 00 | 九医連常任委員会                        | 21 月 | 9 00  | 全国有床診療所連絡協議会総会                  | 社<br>保<br>審<br>査 |
|    |   | 17 00 | 九州各県保健医療福祉主管部長・九<br>州各県医師会長合同会議 |      | 10 00 | (東京)レジナビフェア                     |                  |
| 5  | 土 | 14 30 | 産業医研修会( 実地 )                    | 22 火 | 18 15 | 医協理事会                           |                  |
| 6  | 日 | 10 00 | ( 大阪 )レジナビフェア                   | 23 水 | 19 00 | 第 10 回常任理事協議会                   |                  |
| 7  | 月 | 19 00 | 県内科医会会誌編集委員会                    | 24 木 | 19 00 | 医師国保組合通常組合会                     | 国<br>保<br>審<br>査 |
| 8  | 火 | 18 30 | 第 3 回全理事協議会                     | 25 金 |       |                                 |                  |
|    |   | 19 00 | 県福祉保健部・病院局との意見交換<br>会           | 26 土 | 10 00 | ( 日医 )男女共同参画フォーラム               | 社<br>保<br>審<br>査 |
|    |   | 19 30 | 県福祉保健部・病院局との懇談会                 |      | 15 40 | 九州医師協同組合連合会購買・<br>保険部会          |                  |
| 9  | 水 | 16 00 | 支払基金幹事会                         | 27 日 | 16 00 | 全国医師会医療秘書学院連絡<br>協議会常任委員会       |                  |
| 10 | 木 | 19 00 | 医師国保組合理事会                       |      | 10 00 | 産業医研修会                          |                  |
| 11 | 金 | 19 30 | 県産婦人科医会常任理事会                    | 28 月 | 13 30 | 県プライマリ・ケア研究会世話<br>人会            | 国<br>保<br>審<br>査 |
|    |   |       |                                 |      | 14 00 | 県プライマリ・ケア研究会総会<br>・講演会          |                  |
| 12 | 土 | 13 50 | 京都府医師会在宅医療実地研修会                 | 29 火 | 18 00 | 九州地方社会保険医療協議会宮崎<br>部会           |                  |
|    |   | 15 00 | 県外科医会理事・評議員会                    |      | 19 00 | 第 11 回常任理事協議会                   |                  |
|    |   | 15 30 | 県整形外科医会総会                       |      | 15 00 | 労災診療指導委員会                       |                  |
|    |   | 15 30 | 県外科医会総会                         |      |       |                                 |                  |
|    |   | 16 00 | 労災部会総会                          |      |       |                                 |                  |
| 13 | 日 | 17 00 | 県外科医会・県整形外科医会・労災<br>部会合同学会      | 30 水 |       |                                 |                  |
|    |   |       |                                 |      |       |                                 |                  |
| 14 | 月 | 19 30 | 広報委員会                           | 31 木 |       |                                 |                  |
| 15 | 火 | 18 20 | 医協打合会                           |      |       |                                 |                  |
|    |   | 19 00 | 第 9 回常任理事協議会                    |      |       |                                 |                  |

都合により、変更になることがあります。

平成 26 年 6 月 27 日現在

| 8                   |   |                  |    | 月                      |    |    |   |                 |    |                       |                                                                              |
|---------------------|---|------------------|----|------------------------|----|----|---|-----------------|----|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1                   | 金 | 18               | 30 | 県外科医会夏期講演会             |    | 12 | 火 | 19              | 00 | 第 13回常任理事協議会          | ↑                                                                            |
| 2                   | 土 | 13               | 00 | 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会    |    | 13 | 水 |                 |    |                       | 医<br>家<br>芸<br>術<br>展<br>↑<br>国<br>保<br>審<br>査<br>↓<br>社<br>保<br>審<br>査<br>↓ |
|                     |   | 15               | 00 | 九州学校検診協議会専門委員会         |    | 14 | 木 |                 |    |                       |                                                                              |
|                     |   | 16               | 00 | 九医連常任委員会               |    | 15 | 金 |                 |    |                       |                                                                              |
|                     |   | 17               | 00 | 九州学校検診協議会幹事会           |    | 16 | 土 | 14              | 30 | 産業医研修会(前期)            |                                                                              |
|                     |   | 18               | 00 | 九州各県医師会学校保健担当理事者会      |    | 17 | 日 |                 |    |                       |                                                                              |
|                     |   | 9                | 00 | 九州ブロック学校保健・学校医大会       |    | 18 | 月 |                 |    |                       |                                                                              |
| 3                   | 日 | 9                | 00 | 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会    |    | 19 | 火 | 19              | 00 | 第 14回常任理事協議会          |                                                                              |
|                     |   | 9                | 00 | 九州学校検診協議会              |    | 20 | 水 | 14              | 00 | 産業医研修会                |                                                                              |
|                     |   | 11               | 30 | 九医連学校医会評議員会            |    | 21 | 木 | 19              | 00 | 産業医研修会                |                                                                              |
|                     |   | 15               | 00 | 九州地区健康教育研究大会合同会議       |    | 22 | 金 | 19              | 00 | 産業医研修会                |                                                                              |
|                     |   | 15               | 00 | 学校医部会総会                |    |    |   | 19              | 00 | 県内科医会医療保険委員会          |                                                                              |
|                     |   | 15               | 30 | 学校保健会理事会               |    |    |   |                 |    |                       |                                                                              |
|                     |   | 4                | 月  | 10                     | 00 |    |   | 九州地区健康教育研究大会開会式 |    | 23                    | 土                                                                            |
| 5                   | 火 | 18               | 00 | 治験審査委員会                |    | 24 | 日 | 9               | 30 | 中四九地区医師会看護学校協議会       |                                                                              |
|                     |   | 19               | 00 | 第 14回常任理事協議会           |    |    |   | 25              | 月  | 19                    | 00                                                                           |
| 6                   | 水 | 16               | 00 | 支払基金幹事会                |    | 26 | 火 | 19              | 00 | 第 4 回全理事協議会           | 審<br>査<br>↓                                                                  |
| 7                   | 木 | 19               | 30 | 県産婦人科医会全理事会            |    | 27 | 水 | 15              | 00 | 労災診療指導委員会             |                                                                              |
| 8                   | 金 | 18               | 30 | みやざき若手医師キャリアプラン講演会・交流会 |    | 28 | 木 | 19              | 00 | 産業医研修会                | ↑<br>↓                                                                       |
|                     |   | 19               | 00 | 産業医研修会                 |    |    |   | 29              | 金  | 18                    |                                                                              |
| 9                   | 土 |                  |    | 九州地区医師国保組合連合会全体協議会     |    | 30 | 土 |                 |    | 九医連常任委員会<br>九医連定例委員総会 |                                                                              |
|                     |   |                  |    | 九州地区医師国保組合連合会監査        |    |    |   | 14              | 00 | 在宅医療協議会役員会            |                                                                              |
|                     |   | 九州地区医師国保組合連合会理事会 |    | 15                     | 00 |    |   | 在宅医療協議会総会・研修会   |    |                       |                                                                              |
| 10                  | 日 |                  |    | 15 00 母体保護法指定医師研修会     |    |    |   | 15              | 00 | 県立看護大学あり方検討委員会        |                                                                              |
| 11                  | 月 | 19               | 00 | 県内科医会会誌編集委員会           |    | 31 | 日 |                 |    | 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部長会  |                                                                              |
| 都合により、変更になることがあります。 |   |                  |    |                        |    |    |   |                 |    |                       |                                                                              |

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E -Mail genko @ m iyazakim ed.or.jp

FAX 0 9 8 5 -2 7 -6 5 5 0

TEL 0 9 8 5 -2 2 -5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注 FAX の際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数, CC カリキュラムコード(当日, 参加証を交付)

がん 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は, 変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                               | 演 題                                                                         | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                         | 単<br>位 | CC<br>・<br>が<br>ん    |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 第54回宮崎インター<br>ベンション研究会<br>7月1日(火)<br>18 45~ 20 15<br>宮崎観光ホテル           | 重症虚血肢に対する血行再建戦略<br>旭川医科大学循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野<br>教授 東 信良                         | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>田辺三菱製薬(株)              | 1.5    | 1<br>2<br>15         |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月3日(木)<br>14 00~ 16 00<br>県医師会館                   | (4)メンタルヘルス対策<br>感情労働 - 人よりも余計に気をまわしています -<br>都城新生病院 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会 2単位 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118            | 2      | 3<br>6<br>8<br>13    |
| 平成 26年度心臓検<br>診二次検討会(後期)<br>7月4日(金)<br>19 00~ 21 00<br>日向市東臼杵郡医<br>師会館 | 症例検討会                                                                       | 主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>後援<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222 | 2      | 11<br>33<br>43<br>44 |
| 延岡医学会学術講<br>演会<br>7月4日(金)<br>19 00~ 20 15<br>ホテルメリージュ<br>延岡            | 肝疾患領域におけるトルバプタンの治療経過及び<br>使用成績<br>宮崎医療センター病院<br>消化器・肝臓病センター副部長 坂元 秀荘        | 共催<br>延岡医学会<br>大塚製薬(株)<br>☎ 0985-24-2287<br>後援<br>延岡内科医会    | 1      | 1<br>18              |

| 名称・日時・場所                                                                         | 演 題                                                                                                                        | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                                          | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん      |
|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7 月 5 日(土)<br>14 30~ 16 30<br>県医師会館                          | (6)作業環境管理・作業管理<br>作業環境測定(騒音測定器具を使つての实地研修)<br>宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授<br>黒田 嘉紀<br>基礎研修・生涯研修の实地研修会 2 単位                             | 主催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                                               | 2      | 3<br>9<br>11<br>84 |
| 延岡心臓病カンファ<br>レンス<br>7 月 8 日(火)<br>19 00~ 20 30<br>県立延岡病院                         | 冠動脈造影時にアナフィラキシーショックをきたした造影剤アレルギーの 1 例<br>県立延岡病院循環器内科部長 山本 展誉<br>下肢深部静脈血栓, 肺塞栓に対し VC フィルターを留置して加圧を行った症例<br>同医長 黒木 一公<br>他 1 | 共催<br>延岡心臓病カンファレンス<br>興和創薬(株)<br>フクダ電子西部販売(株)<br>グッドウィル(株)<br>☎ 0982-21-8105<br>後援<br>延岡市医師会 | 1.5    | 2<br>26<br>45      |
| 第 54 回都城心臓血<br>管懇話会<br>7 月 8 日(火)<br>19 20~ 20 20<br>ホテル中山荘                      | 肺高血圧症の診断と治療<br>- 病診連携の実際 -<br>鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学助教<br>窪田 佳代子                                                                 | 共催<br>都城心臓血管懇話会<br>☎ 0986-22-0711<br>アクテリオンファーマシュー<br>ティカルズジャパン(株)                           | 1      | 24<br>45           |
| 第 87 回 江南 医 療<br>連 携 の 会 ・ 症 例<br>検 討 会<br>7 月 10 日(木)<br>19 00~ 20 30<br>宮崎江南病院 | 変形した膝蓋骨に生じた骨折に対してひまわり法を用いて手術を行った 1 例<br>宮崎江南病院整形外科医長 坂田 勝美<br>輸入感染症としての麻疹の 1 例<br>同内科医長 田中 弦一<br>他 1                       | 主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎ 0985-51-7575                                          | 1.5    | 53<br>56           |

| 名称・日時・場所                                                                           | 演 題                                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                                                  | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------|
| 宮崎小児感染症研究会<br>7 月 10日(木)<br>19 15~ 21 00<br>M R T m i c c                          | 小児副鼻腔炎に対する外科的アプローチ<br>東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学講座<br>准教授 鴻 信義                                                                   | 共催<br>宮崎小児感染症研究会<br>宮崎県小児科医会<br>宮崎県耳鼻咽喉科医会<br>宮崎県臨床衛生検査技師会<br>M eiji Seika ファルマ(株)<br>☎ 0985-25-6215 | 1.5    | 15<br>28<br>46               |
| 延岡医学会学術講演<br>会(延岡消化器病研<br>究会特別講演会)<br>7 月 11日(金)<br>19 00~ 20 30<br>ホテルメリージュ<br>延岡 | G I endoscopyの進歩(仮)<br>宮崎大学医学部消化器血液学分野助教<br>三池 忠                                                                      | 共催<br>延岡医学会<br>延岡消化器病研究会 /<br>画像診断研究会<br>エーザイ(株)<br>☎ 0985-26-2676<br>後援<br>延岡内科医会                   | 1      | 1<br>2                       |
| 機能性ディスペプ<br>シア講演会<br>7 月 11日(金)<br>19 15~ 20 45<br>ガーデンテラス<br>宮崎                   | 機能性ディスペプシア診療ガイドライン<br>- エビデンスに基づいた最新のFD 治療戦略 -<br>兵庫医科大学内科学消化管科主任教授<br>三輪 洋人                                          | 共催<br>宮崎県内科医会<br>ゼリア新薬工業(株)<br>アステラス製薬(株)<br>☎ 0985-61-1537<br>後援<br>N P O 法人消化器・血液・腫瘍研究会            | 1      | 15<br>21                     |
| 第 25回宮崎リウマ<br>チ医の会<br>7 月 12日(土)<br>15 00~ 18 10<br>M R T m i c c                  | 関節リウマチ病態形成因子とその制御による治療の<br>可能性<br>兵庫医科大学内科学リウマチ・膠原病科<br>主任教授 佐野 統<br>リウマチ手病変の治療 ; Up to Date<br>南川整形外科院長 南川 義隆<br>他 1 | 共催<br>宮崎リウマチ医の会<br>旭化成ファーマ(株)<br>☎ 0985-28-2736                                                      | 3      | 2<br>5<br>6<br>8<br>28<br>61 |

| 名称・日時・場所                                                                                     | 演 題                                                                                  | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------|----------------|
| 平成 26 年度宮崎県<br>外科医会・県整形<br>外科医会・県医師<br>会労災部会合同<br>学会<br>7 月 12 日(土)<br>17 00~ 18 00<br>県医師会館 | 病院前救急診療とドクターヘリ<br>宮崎大学医学部救急・災害医学分野<br>救命救急センター教授 落合 秀信                               | 共催<br>宮崎県外科医会<br>宮崎県整形外科医会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎県医師会労災部会         | 1      | 1<br>13        |
| 日向市東臼杵郡医<br>師会学術講演会<br>7 月 15 日(火)<br>19 00~ 20 45<br>ホテルベルフォー<br>ト日向                        | 当院におけるアジルサルタンの使用経験<br>高千穂町国民健康保険病院内科 押方 慎弥<br>24 時間血圧管理の重要性(仮)<br>遠賀中間医師会おんが病院 吉田 哲郎 | 共催<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222<br>日向市・東臼杵郡薬剤師会<br>武田薬品工業(株)    | 1.5    | 73<br>74<br>82 |
| 第 5 回児湯内科医<br>会学術講演会<br>7 月 15 日(火)<br>19 00~ 20 00<br>ホテル四季亭                                | 見逃してはいけない心電図異常<br>- 致死的不整脈を中心に -<br>千代田病院循環器内科部長 小宮 憲洋                               | 共催<br>児湯内科医会<br>☎ 0983-22-1641<br>バイエル薬品(株)                        | 1      | 1<br>43        |
| 西都市西児湯内科<br>医会学術講演会<br>7 月 15 日(火)<br>19 00~ 20 30<br>ホテルプリムロー<br>ズ西都                        | 最近の糖尿病治療の目標<br>- 治療法の変化 -<br>平和台病院名誉院長 中村 周治                                         | 主催<br>西都市西児湯内科医会<br>共催<br>西都市西児湯医師会<br>☎ 0983-43-1687<br>武田薬品工業(株) | 1      | 76<br>82       |

| 名称・日時・場所                                                                | 演 題                                                                      | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                          | 単<br>位 | CC<br>・<br>が<br>ん    |
|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------|----------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月16日(水)<br>14 00~ 16 00<br>県医師会館                   | (4)メンタルヘルス対策<br>職場のストレスとその対処方法<br>宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会 2単位     | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118             | 2      | 11<br>13<br>69<br>70 |
| 宮崎市郡医師会 7<br>月例会特別講演会<br>しののめ医学会<br>7月16日(水)<br>19 00~ 19 45<br>宮崎観光ホテル | 医療機関の事業継承<br>税理士法人日本経営課長 矢野 弘樹                                           | 主催<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                              | 0.5    | 7                    |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月17日(木)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館                   | (3)健康管理<br>職場における糖尿病対策<br>都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展<br>生涯研修の専門研修会 2単位          | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118             | 2      | 8<br>9<br>11<br>76   |
| 西臼杵地区学術講<br>演会<br>7月17日(木)<br>19 15~ 20 15<br>ホテル高千穂                    | 今日からわかる！パーキンソン病<br>診断から治療までの最新の話題<br>国立病院機構熊本南病院<br>神経難病センター神経内科医長 栗崎 玲一 | 共催<br>西臼杵郡医師会<br>☎ 0982-73-2010<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>大日本住友製薬(株) | 1      | 13<br>73             |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                                                                                                                          | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                   | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                                |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------|
| 第 39 回消化器疾患<br>宮崎セミナー<br>7 月 19 日(土)<br>14 45~ 19 00<br>M R T m i c c        | 経鼻内視鏡による嚥下機能評価・示唆に富む胃癌，<br>大腸癌の E S D 症例<br>町田市民病院消化器科部長 和泉 元喜<br>ピロリ感染胃炎の内視鏡診断と除菌診療<br>川崎医科大学消化管内科学講師<br>鎌田 智有<br>他 1<br><br>参加費 5,000 円( 開業医 )<br>3,000 円( 勤務医 )<br>その他は無料 | 共催<br>宮崎木曜会<br>第一三共(株)<br>アストラゼネカ(株)<br>☎ 080-4364-0144               | 3      | 8<br>21<br>47<br>49<br>54<br>55<br>(大腸)<br>胃 |
| 平成 26 年度学童心<br>臓検診第三次検討<br>会及び講演会<br>7 月 19 日(土)<br>15 00~ 18 00<br>日向市中央公民館 | 小児の心疾患について( 仮 )<br>宮崎大学医学部附属病院教授 高木 純一                                                                                                                                       | 主催<br>日向市東臼杵医師会心臓検診班<br>後援<br>日向市東臼杵医師会<br>☎ 0982-52-0222             | 3      | 11<br>33<br>43<br>44                         |
| 第 74 回宮崎大学眼<br>科研究会<br>7 月 19 日(土)<br>17 00~ 19 00<br>宮崎観光ホテル                | アレルギー性結膜疾患と環境因子<br>鶴見大学歯学部附属病院眼科教授 藤島 浩<br>症例から学ぶ緑内障薬物療法の考え方<br>日本大学医学部視覚科学系眼科学分野准教授<br>山崎 芳夫<br><br>参加費 2,000 円                                                             | 主催<br>宮崎大学医学部眼科学教室<br>☎ 0985-85-2806                                  | 2      | 36                                           |
| 都城市北諸県郡医<br>師会内科医会学術<br>講演会<br>7 月 22 日(火)<br>19 00~ 20 30<br>ホテル中山荘         | 糖尿病治療の新展開<br>- S G L T 2 阻害剤の適正使用を考える -<br>九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点<br>教授 井口 登與志                                                                                                | 共催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>☎ 0986-22-0711<br>大正富山医薬品(株)<br>ノバルティスファーマ(株) | 1.5    | 9<br>76<br>82                                |

| 名称・日時・場所                                                       | 演 題                                                                                                                                         | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                             | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん     |
|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------|-------------------|
| 第 187回 宮崎県泌尿器科医会学術講演会<br>7 月 24日(木)<br>18 50~ 20 30<br>宮崎観光ホテル | 当医会会員の漢方薬使用実態<br>- アンケート調査から -<br>中山 健<br>泌尿器科領域の漢方の使い方<br>順天堂大学医学部泌尿器科学教授<br>堀江 重郎                                                         | 共催<br>宮崎県泌尿器科医会(株)ソムラ<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部泌尿器科<br>☎ 0985-85-2968 | 1.5    | 9<br>83<br>84     |
| 第 18回 宮崎甲状腺疾患研究会<br>7 月 25日(金)<br>19 00~ 21 00<br>宮崎観光ホテル      | 甲状腺検査 気を付けるべき点と最近の進歩(仮)<br>獨協医科大学感染制御・臨床検査医学教授<br>菱沼 昭                                                                                      | 共催<br>宮崎甲状腺疾患研究会<br>あすか製薬(株)<br>☎ 080-6645-9247                 | 2      | 1<br>2<br>9<br>15 |
| 第 33回 宮崎感染症研究会<br>7 月 25日(金)<br>19 00~ 20 40<br>宮崎観光ホテル        | 肺炎の診断と治療 - 誤嚥性肺炎を中心に -<br>群馬大学医学部附属病院<br>感染制御部診療教授<br>徳江 豊<br>ヘルペスウイルスと顔面神経麻痺<br>名古屋市立大学医学研究科<br>耳鼻咽喉・頭頸部外科学教授<br>村上 信五<br>参加費 1,000円(学生除く) | 共催<br>宮崎感染症研究会<br>第一三共(株)<br>☎ 0985-23-5710                     | 1.5    | 38<br>46<br>47    |
| 延岡医学会学術講演会<br>7 月 25日(金)<br>19 00~ 20 15<br>ホテルメリージュ<br>延岡     | SGLT2 阻害剤のポジショニングについて考える<br>潤和会記念病院糖尿病・代謝内科部長<br>水田 雅也                                                                                      | 共催<br>延岡医学会<br>小野薬品工業(株)<br>☎ 0985-61-8123<br>アストラゼネカ(株)        | 1      | 11<br>76          |

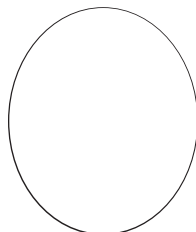
| 名称・日時・場所                                                                            | 演 題                                                                                                                                                         | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                                      | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7 月 27 日(日)<br>10 00~ 12 00<br>宮 崎 大 学 医 学 部<br>302 講義室         | (5)健康保持増進<br>産業現場に必要な禁煙支援の基礎知識<br>職場での禁煙支援のエビデンス<br>のだ小児科医院長 野田 隆<br>(5)健康保持増進<br>産業現場に必要な禁煙支援の基礎知識<br>職場で禁煙を推進するポイント<br>禁煙マラソン事務局長 三浦 秀史<br>生涯研修の専門研修 2 単位 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                         | 2      | 5<br>11<br>12<br>82                                     |
| 都城市北諸県郡医<br>師会外科医会総会<br>および講演会<br>7 月 29 日(火)<br>19 00~ 20 30<br>都 城 グ リ ー ン<br>ホテル | 大腸癌の治療戦略<br>宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学分野助教<br>石 崎 秀 信                                                                                                                 | 共催<br>都城市北諸県郡医師会外科医会<br>☎ 0986-22-0711<br>武田薬品工業(株)                                      | 1.5    | 10<br>50<br>55<br>(大腸)                                  |
| 宮崎県皮膚科医会<br>学術講演会<br>7 月 31 日(木)<br>19 15~ 20 30<br>ホテルメリージュ                        | アトピー性皮膚炎，ニキビの治し方<br>- 知っている役立つ，とっておきの治療ノウハウ -<br>大阪皮膚科医会長 河合 修三                                                                                             | 共催<br>宮崎県皮膚科医会<br>マルホ(株)<br>☎ 096-382-2200                                               | 1      | 26<br>73                                                |
| 第 44 回 宮 崎 救 急<br>医学会<br>8 月 2 日(土)<br>13 00~ 18 00<br>宮崎市佐土原総合<br>文化センター           | サンダーバード作戦<br>八戸市立市民病院救命救急センター<br>所長 今 明秀<br>他一般演題<br>参加費 500円                                                                                               | 主催<br>西都児湯医療センター<br>☎ 0983-42-1113<br>共催<br>東レ・メディカル(株)<br>後援<br>宮崎大学医学部附属病<br>院救命救急センター | 5      | 5<br>10<br>13<br>16<br>17<br>18<br>19<br>32<br>50<br>57 |

| 名称・日時・場所                                                                                       | 演 題                                                                                                                                | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                              | 単 位 | CC<br>・<br>が<br>ん                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------|
| 第 58回九州ブロッ<br>ク学校保健・学校<br>医大会 平成 26年<br>度九州学校検診協<br>議会<br>8 月 3 日(日)<br>9 00~ 15 00<br>宮崎観光ホテル | フッ化物を用いて みんなで守る子どもの歯<br>宮崎市郡歯科医師会歯科医師 櫛山 実寿<br>学校におけるアナフィラキシー対応<br>- 調布市での取り組み -<br>東京慈恵会医科大学附属第三病院<br>小児科准教授・診療部長 勝沼 俊雄<br>他教育講演等 | 主催<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                   | 5   | 1<br>2<br>11<br>12<br>13<br>16<br>36<br>38<br>72<br>82 |
| 第 89回宮崎市郡医<br>師会心臓病研究会<br>8 月 6 日(水)<br>18 50~ 20 20<br>宮崎観光ホテル                                | Transcatheter aortic valve im plantation<br>我々は何を知り、何をすべきか？<br>慶應義塾大学医学部循環器内科講師<br>林田 健太郎                                          | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>興和創薬(株)     | 1.5 | 1<br>2<br>9                                            |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>8 月 8 日(金)<br>19 00~ 21 00<br>延岡地域職業訓練<br>センター                             | (6)作業環境管理・作業管理<br>労働衛生保護具について<br>下津労働衛生コンサルタント事務所代表<br>下津 義博<br>生涯研修の現地研修会 2 単位                                                    | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2   | 9<br>10<br>11<br>46                                    |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>8 月 20日(水)<br>14 00~ 16 00<br>県医師会館                                        | (4)メンタルヘルス対策<br>職場の精神医学的諸問題<br>宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会 2 単位                                                                 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2   | 3<br>5<br>69<br>70                                     |

| 名称・日時・場所                                                           | 演 題                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                              | 単<br>位 | CC<br>・<br>が<br>ん  |
|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------|--------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>8 月 21 日(木)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館           | (3)健康管理<br>労働者のお酒とのつきあい方<br>- 産業医・警察医の視点 -<br>大西医院長 大西 雄二<br>生涯研修の専門研修会 2 単位                          | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2      | 5<br>9<br>11<br>19 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>8 月 22 日(金)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館           | (4)メンタルヘルス対策<br>事業所におけるメンタルヘルス事例( )<br>西都病院 植田 勇人<br>生涯研修の専門研修会 2 単位                                  | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2      | 5<br>6<br>69<br>70 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>8 月 28 日(木)<br>19 00~ 21 00<br>都城市北諸県郡<br>医師会館 | (1)労働安全関係法規と関係通達の改正<br>この頃の産業保健の動向<br>- 厚生労働省報道発表資料から -<br>西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武<br>生涯研修の更新研修会 2 単位 | 共催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118 | 2      | 3<br>7<br>8<br>9   |
| 第 42 回ひむか運動<br>器セミナー<br>9 月 2 日(火)<br>18 50~ 20 30<br>宮崎観光ホテル      | 変形性膝関節症に対する保存的治療の有効性と課題<br>島根大学医学部整形外科教室教授 内尾 祐司                                                      | 共催<br>ひむか運動器セミナー<br>昭和薬品化工(株)<br>☎ 0120-56-4089  | 1      | 61<br>62           |

| 名称・日時・場所                                                          | 演 題                                                                                  | 主催・共催・後援<br>= 連 絡 先                                                                     | 単<br>位 | CC<br>・<br>がん                                        |
|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------|
| 第 22回 都城緩和<br>ケア研究会<br>9月6日(土)<br>13 30~ 16 40<br>都城市北諸県郡<br>医師会館 | 多職種からみた緩和ケア<br>三州病院緩和ケア病棟<br>溝口 裕郁<br>他<br>参加費 500円                                  | 主催<br>都城緩和ケア研究会<br>共催<br>田辺三菱製薬(株)<br>後援<br>宮崎県医師会 他<br>(連絡先)<br>三州病院<br>☎ 0986-22-0230 | 3      | 80<br>81                                             |
| 第 26回 宮崎県糖尿<br>病教育セミナー<br>9月7日(日)<br>9 55~ 16 45<br>かんぼの宿日南       | 糖尿病腎症Up to date<br>千葉大学医学研究院<br>細胞治療内科学内分泌・代謝・血液内科<br>准教授<br>竹本 稔<br>他<br>参加費 3,000円 | 共催<br>宮崎県糖尿病懇話会<br>ノボルディスクファーマ(株)<br>☎ 0985-20-1891<br>後援<br>宮崎県医師会他                    | 5      | 1<br>2<br>5<br>9<br>10<br>15<br>23<br>36<br>76<br>82 |
| 第 1回 宮崎神経眼<br>科セミナー<br>9月13日(土)<br>18 30~ 21 00<br>宮崎観光ホテル        | チャレンジ神経眼科学 - とっておきの4問<br>愛知淑徳大学健康医療科学部教授 柏井 聡<br>参加費 2,000円                          | 共催<br>宮崎神経眼科ネットワーク<br>参天製薬(株)<br>(連絡先)<br>尾崎眼科<br>☎ 0982-52-5600                        | 2.5    | 1<br>2<br>13<br>36                                   |

## 診療メモ



## 遺伝子診断と遺伝カウンセリング

宮崎大学医学部附属病院産婦人科

宮崎大学医学部附属病院遺伝カウンセリング部

やま

ぐち

まさ

とし

山 口 昌 俊

## はじめに

2011 年 2 月に、日本医学会から「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」が公開され、それまでの遺伝関連 10 学会のガイドラインが、医学会全体のガイドラインになりました。これにより、おそらく医療関係者であれば、誰でも遵守する必要があるガイドラインになりました。このガイドラインには、やたらと「遺伝カウンセリング」という言葉が出てきます。そもそも「遺伝カウンセリング」とは何なのでしょう？なぜこんなに強調されるのでしょうか？本稿は、遺伝カウンセリングに関して、少しでも理解していただきたいために作成したものです。診断すること

西洋医学では、「診断する」ということが絶対に必要です。我々は、「○○病である」と診断したから、治療できるのであって、「なんだかよくわからないけど、痛いと言っているから鎮痛剤を出しましょう」というのは、しないほうが良いことになっています。つまり、我々は、患者さんを治療するために「診断を付ける」ことに全力を注ぐことが義務付けられています。そこに、遺伝学の進歩に伴い「遺伝子診断」という方法が導入されてきたわけです。遺伝子診断をすれば、100%確実に診断できるという誤解があるために、遺伝子診断が可能であれば、検査したいという気持ちになるのは無理もないことだと思います。

## 遺伝子診断の問題点

さて、遺伝子診断は、通常の臨床診断とどこが異なるのでしょうか？端的に言うと、通常の臨床診断は患者さん本人の診断を行うのに対して、生殖細胞系列の遺伝子診断は、遺伝情報の一部が共有されているため、血縁関係のある親戚の診断も同時に行っていることが一番の問題です。

日本では、遺伝性疾患は稀なものと信じられており、偏見や差別の対象になります。「あなたの家系に遺伝病の人がいる」ということは、婚約破棄の正当な理由になるのです。そこで、一人の患者さんの遺伝子診断を行うことが、会ったこともない家系内の別の人の不利益になる可能性があるわけです。

## 遺伝性疾患のリスクは

常染色体劣性遺伝の場合、変異を持つ遺伝子を持っているだけでは発症しません。変異を持つ保因者同士が結婚して、確率 1/4 で劣性ホモ接合体の子どもが誕生して初めて、両親が保因者であったことが判ります。では、劣性遺伝の保因者はどのくらいの割合で存在するのでしょうか？

最近、次世代シーケンサーが実用化されました。この機械を使用することにより、ある個人の全ゲノム解析が可能になってきました。この解析で判ってきたことは、疾患と関連した遺伝子変異は、だれでも、50~100 個持っているとい

うことです(表1)。つまり、この世に存在する人はすべて劣性遺伝の保因者であり、どの家系にも遺伝性疾患の患者が誕生する可能性があるわけです。

#### 遺伝カウンセリングの意味

遺伝性疾患が、どの家系にも発生する可能性もあるにもかかわらず、遺伝性疾患は関係がないと信じられているために、偏見と差別につながるのだというお話をしました。ではなぜ遺伝カウンセリングが解決になるのでしょうか？

「先生、私の病気は一体何なのですか」と聞かれることは、医師であればだれでも経験することでしょう。そこで考えてください。患者さんは「診断名」を知ればそれで良いのでしょうか？患者さんが診断を求める理由は「診断が決まれば治療して治してもらえる」からではないでしょうか。

例をお示しします。生後すぐの男児が肺炎で入院しましたが、CPKが高いことが判明しました。「病名をはっきりさせてください」と言われた主治医は遺伝子診断を行いました。判明した診断名は「デュシャン型筋ジストロフィー」でした。確かに診断はつきました。が、それで判ったことは、この子は数年以内に症状が出て、10代後半には気管切開・人工呼吸になり死亡するのを、両親は看取らなければならないということです。絶対に逃れられないし、治療法もない。このご両親は本当にそのようなことを知りたかったのでしょうか？そこで、遺伝性疾患では、クライアントに「知らないでいる権利」もあるとされています。

では、主治医を「なんでこのようなことをしたのだ」と責めて、何か良いことがあるのでしょうか。何も無いはず。この時点で診断をしなければ、いずれは診断せねばなりません。要は診断後の管理をどうするかです。

よく、「遺伝カウンセリングは福祉の範疇に入

るもので、医療とは関係がない」と言われます。確かに一理あります。しかし現実的に、このような症例の面倒を見てくれるシステムがありません。「その様なシステムがない社会が悪いのであって、自分には関係がない」といったとして、患者さんに納得してもらえるでしょうか？「診断だけ付けてあとは見捨てられた」と思われるのではないのでしょうか。その様な患者さんに、寄り添って、今後の人生設計に関して決断ができるようにサポートする、或いは就職や結婚で差別された時に、遺伝の専門家の立場から、説明と理解をしてもらうのが遺伝カウンセリングです。

ではどうすれば良いのでしょうか。

日本医学会の「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」では、患者さん自身に関しては、このようなサポートは主治医の責任であるとされています。でも、現実的な実地臨床で可能であるとは限りません。また、血縁者に対する対応は、極めて困難です。自分自身で対応できなければ、専門部署に相談する必要がありますが、現時点で宮崎県内に遺伝カウンセリングの専門部署は宮崎大学にしかありませんので、ご遠慮なくご相談ください。要は遺伝子診断をしてはいけないというのではなく、診断後のケアが必要だということです。次号は、出生前診断について解説させていただく予定です。

表1 ヒトにおける遺伝子変異の割合(Marian 2012より引用)

|                  |                                   |
|------------------|-----------------------------------|
| 1ゲノム中の塩基数        | 3.2× 10 <sup>9</sup>              |
| タンパクをコードしている遺伝子数 | 23,500                            |
| DNA多型            | 4× 10 <sup>6</sup>                |
| 1塩基多型(SNP)の数     | 3.5× 10 <sup>6</sup>              |
| 非同義置換型SNPの数      | 10,000                            |
| 構造多型/CNVの数       | 10 <sup>3</sup> ~ 10 <sup>4</sup> |
| 疾患との関連が証明された多型の数 | 50~ 100                           |
| De novo変異        | 30                                |
|                  | 5.4× 10 <sup>6</sup> (2012.6)     |
|                  | 10 <sup>-8</sup> /bp /generation  |

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課までご連絡ください。(TEL 0985-22-5118)

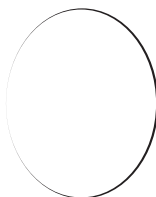
| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 22 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中東呼吸器症候群(MERS)に関する対応について</li> <li>・「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準の制定等に伴う実施上の留意事項及び先進医療に係る届出等の取扱いについて」の一部改正について(通知)</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№90」の提供について(通知)</li> <li>・消防庁「有床診療所防火対策自主チェックシステム」の運用開始について</li> </ul>                                                              |
| 5 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公正取引委員会による消費税の転嫁拒否等の行為に関する事業者等向け説明会及び相談会の実施について</li> <li>・病院におけるスプリンクラー設置に関する調査の結果について</li> </ul>                                                                                                                                                                         |
| 5 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護法改正法の施行に係る医療扶助関係通知について</li> <li>・平成 26 年度介護報酬改定後の給付費の請求について</li> <li>・食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針(ガイドライン)の改正について</li> </ul>                                                                                                                                              |
| 5 月 30 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 41 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の開催について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                   |
| 6 月 2 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                              |
| 6 月 3 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別児童扶養手当、障害児福祉手当及び特別障害者手当の障害程度認定基準及び認定診断書の様式改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |
| 6 月 4 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発がん性等を有する化学物質を含有する抗がん剤等に対するばく露防止対策について</li> <li>・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について(周知依頼)</li> </ul>                                                                                                                                                                                     |
| 6 月 5 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症法における中東呼吸器症候群(MERS)の取扱いについて</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                 |
| 6 月 6 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・産業保健活動総合支援事業に係る傷害保険制度手引きの送付について</li> <li>・教育訓練給付金の拡充について</li> <li>・臨床研修を修了した者であることの確認等について</li> </ul>                                                                                                                                        |
| 6 月 9 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・治癒切除不能な膵癌を適応とするエルロチニブ塩酸塩製剤の使用に当たっての留意事項の一部改正について</li> <li>・公知申請に係る事前評価が終了し、薬事法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・平成 26 年度診療報酬改定における経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術に係る届出について</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料」の送付について(その 7)」の送付について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について</li> </ul> |

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                         |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 月 10日 | ・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について                                                                                                                             |
| 6 月 11日 | ・医療施設における 2014年度夏季の電力需給対策について                                                                                                                                                 |
| 6 月 13日 | ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について<br>・医療貸付事業融資制度利用者に対する個別融資相談会の開催について<br>・平成 26年度「愛の血液助け合い運動」の広報資料(ポスター)の送付について<br>・改正道路交通法の円滑な運用のための協力について                                           |
| 6 月 14日 | ・中東呼吸器症候群(MERS)に関する検疫所の対応について(協力依頼)                                                                                                                                           |
| 6 月 17日 | ・「使用上の注意」の改訂について                                                                                                                                                              |
| 6 月 19日 | ・総務省取りまとめによる「各種電波利用機器の電波が植込み型機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(平成 26年度版)の送付について<br>・改正道路交通法の円滑な運用のための御協力をお願いについて<br>・いじめ防止対策推進法を踏まえた対応について(周知依頼)                                            |
| 6 月 20日 | ・中東呼吸器症候群(MERS)に関する検疫所の対応について                                                                                                                                                 |
| 6 月 23日 | ・平成 26年毎月勤労統計調査特別調査への調査協力依頼について(依頼)<br>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について<br>・平成 26年度医療施設整備・機能強化セミナーについて(通知)<br>・平成 26年度救急医療業務実地修練等に係る受講者の募集について(通知)<br>・新たな難病対策に関する都道府県担当者会議資料等の送付について |
| 6 月 24日 | ・「3歳児検診の検尿のフローチャート」の送付について<br>・児童福祉法の一部を改正する法律の公布について                                                                                                                         |
| 6 月 26日 | ・消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法の遵守の徹底について<br>・消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法の遵守の徹底について(通知)                                                    |
| 6 月 30日 | ・「死因究明等推進計画」の周知について(依頼)<br>・検体測定室に関するガイドラインに係る疑義解釈集(Q & A)の送付について<br>・「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」の報告様式の変更について<br>・「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」に基づく報告の電子メールでの受付不可期間について                       |

-----

あなたできますか？(解答)

|   |   |   |   |   |   |       |       |           |    |
|---|---|---|---|---|---|-------|-------|-----------|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7     | 8     | 9         | 10 |
| b | a | c | b | e | d | a , e | a , d | a , d , e | d  |



その 1 : 「私の命があと 3 年だとしたら今年一年どう生きようか？私の命があと 3 か月だとしたら今月どう生きようか？私の命があと 3 日だとしたら今日一日どう生きようか？」うちのクリニックの開設当初、苦労したときに慰め、励まし、力づけてくれた宮崎のフォーク歌手であるミッキー大野さんの曲のひとつです。ある人の病をきっかけに最近この詩がしみていま

す。家族、兄弟、親戚、友人達と今まで逢ってきたか？話してきたか？楽しんできたか？仕事に流される自分に自問自答しつつ考えます。人生のある時期に来た時に後悔なきよう一日一日を大切に生きていかなくちやと思う今日この頃です(ちなみにミッキーさんは宮崎サンシャイン FM(76.1MHz)でディスクジョッキーとして番組をもち、街中でフォークヴィレッジというスナック経営をするフォークシンガーです。CD を 3 枚ほど出しています)。

その 2 : 梅雨入りしてからというもののカラッとした天気が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか？梅雨入り宣言したとたんに晴れてくるのは毎年恒例のようですね。宮崎に来た当初思ったのは宮崎の学生さん達は男女ともに傘を差さずにずぶぬれで自転車通学するんだなぁとびっくり(感心?)した覚えがあります。宮崎のパワーを感じた瞬間でした。(釜付)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

サッカーW杯に関連して、ボスニア・ヘルツェゴビナ代表チームを取り上げた番組を見ました。あのオシム氏の動きを軸に、文字通り隣人同士が殺しあった深刻な民族対立を乗り越えて代表チームを組み、初出場を果たした話です。感動というより悲しい気持ちで一杯になりました。戦争は嫌です。憲法 9 条の精神を世界中に広げたいと思う。集団的自衛権が行き着くところは、つまり自衛隊員による一般市民の殺戮です。安倍総理にレッドカード！(上野)

＊ ＊ ＊

大いに沸いた FIFA ワールドカップも日本チームの 1 次予選敗退という予想外？の結果に終わった。しかし、この原稿が出る頃には、きっと梅雨もあけ、世界のスーパースターの素晴らしいプレーを、過剰な期待も、落胆もせず、素直に楽しく、心ひろく観戦できるようになっているでしょう。だが、4 年後は狂喜乱舞できることを期待したい。そのあとは甲子園である、昨年の「延学旋風」を宮崎代表に期待したい。ただし、暑い夏の熱中症にご用心です。

(篠原)

＊ ＊ ＊

先月 24 歳を迎えましたが、だんだんと大人の味覚になってきているのを実感します。ビールも年を追うごとにおいしく感じ、子どもの頃に好きだったであろう味付けもクドく感じてしまいます。焼肉を食べに行った際なども、肉ばかりではどうしてもきつくなり野菜を挟まずにはいられません。体が脂質の過剰な侵入を拒んでしまうのでしょうか。一方で、さすがに 20 代でそれは草食系過ぎじゃないか？将来食べるものあるのか？と、少し心配になったりもする昨今です。

(原尾)

＊ ＊ ＊

都城の城山公園と都城歴史資料館を訪ねてみました。都城は元々薩摩藩であり明治維新後の偉人紹介が多く、特に城山公園内に海軍大将こと財部 彪像(たからべ たけし)が目につきました。そしてその像の説明文に、「昭和 5 年のロンドン軍縮会議に全権として出席し、調印したこと」「柔道が現在のオリンピック種目になるべく努力をされたこと」などがありました。私も学生時代柔道をしていたこともあり感慨深いものがありました。- 宮崎県偉人紹介パート 2( ^ ^ ) - (上園)

＊ ＊ ＊

最近、料理が好きです。

宮崎の野菜は甘くて美味しいので、旬のものを食べることの大切さに気付かされたことがきっかけでした。また、調理法を教えてもらうために母と連絡をとることも増えたので、体も心も元気になれる気がします。

つい先日、知人にトマトをたくさんいただきました。実は生で食べるのが苦手なトマト…。煮込んでソースにし、きちんと食べることができました。

(上條)

＊ ＊ ＊

「小児の食物アレルギーの診断と治療について」の講演会で聞いた情報です。宮崎生協病院の山元広己先生は、患者さんに入院していただき厳重な管理のもとで食物負荷試験をしておられます。

なお県内では先天性風疹症候群と成人麻疹予防のため、対象が限られていますが MR ワクチン接種料を助成している地区があります。県医師会のホームページからアクセスできます。この際一度覗いてみてください。他のいろいろなお役立ち情報が載っていますよ。

(青木)

＊ ＊ ＊

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

## 会長のページ ご挨拶

6月21日の総会で新しく選任された河野雅行会長による、第1回目の「会長のページ」です。医療を取り巻く情勢の認識と、今後の宮崎県医師会のかじ取りについての抱負が語られています。会員の皆様のご協力を、これからもよろしくお願いいたします。

3 ページ

## 就任挨拶 宮崎大学医学部長就任のご挨拶と抱負

宮崎医科大学1期生でもある丸山眞杉教授から医学部長就任のご挨拶をいただきました。ユーモアあふれる優しい文章で、最初の授業が運動公園の合宿所で始まったエピソードや、将来の地域医療を担う若い卒業生を宮崎に惹きつけるための様々なアイデアなどを紹介していただきました。

7 ページ

## はまゆう随筆

夏の風物詩、恒例のはまゆう随筆が今月号から掲載開始です。まずは15名の先生方に登場願いました。仕事でお付き合いしているあの先生に、こんな一面があったのかと、思わずにんまりの傑作ぞろいです。

9 ページ

## 診療メモ 遺伝子診断と遺伝カウンセリング

今話題の遺伝子診断ですが、同時に大変に重たい問題を含んでいます。治療法がない疾患を、それでも診断することに患者の利益があるのか。診断後の管理やケアをだれがするのか。また、疾病に関連した遺伝子変異はだれでも50~100個は持っていることなど、あらためて遺伝カウンセリングの重要性を認識させられました。宮大医学部附属病院遺伝カウンセリング部の山口昌俊先生のお話です。

66ページ

日 州 医 事 第 779号 (平成 26年 7月号) (毎月1回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地 0985-22-5111(代) FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副 委 員 長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、原尾 拓朗、上條 苑子

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、川上 勲、枝元 真人

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 佐々木 究、荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)